

令和 6 年 9 月

令和 6 年度 進路に関するアンケート調査 結果 (保護者 用)

調査日	令和 6 年 8 月～9 月
対象者	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、横浜町の生徒 及び その保護者
調査方法	学校を通じ対象者全員に通知 回答はオンライン回答のみ
実施者	むつ市 政策推進部 企画課

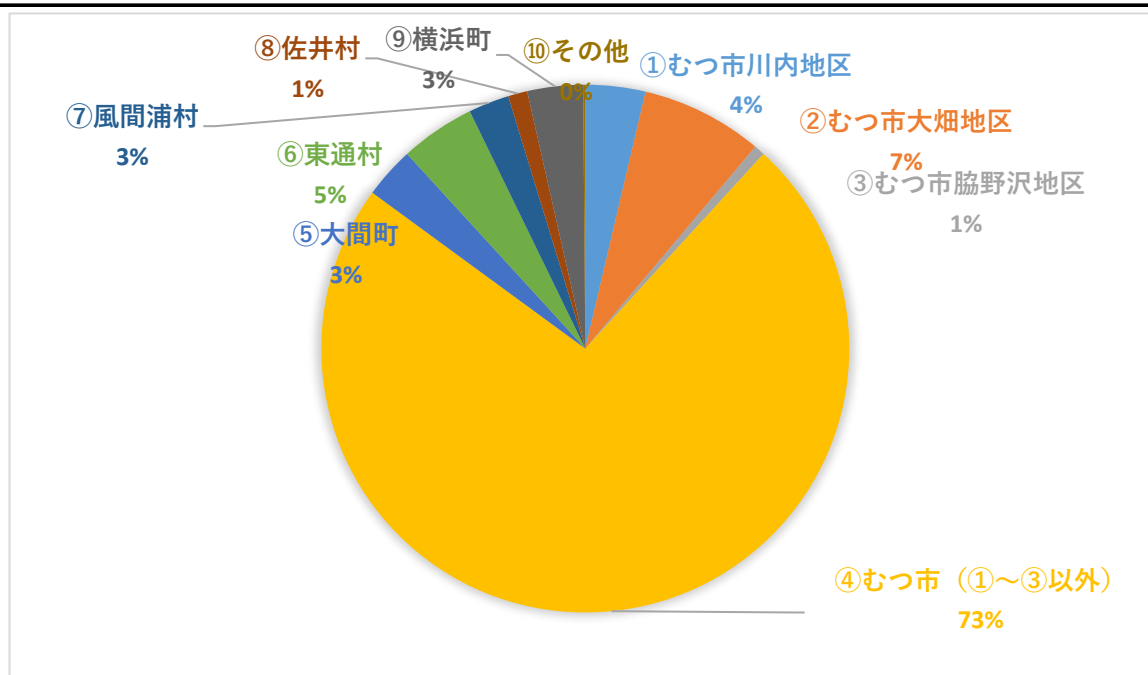
【基本事項】

Q 1. あなたの住所地をお知らせください。

	総計
①むつ市川内地区	28
②むつ市大畑地区	57
③むつ市脇野沢地区	5
④むつ市（①～③以外）	559
⑤大間町	24
⑥東通村	35
⑦風間浦村	19
⑧佐井村	9
⑨横浜町	26
⑩その他	1
総計	763

< 分析 >

⑩その他内訳：「茨城県龍ヶ崎市」



【基本事項】

Q 2. あなたのご家庭の主たる生計者の職業についてお知らせください。

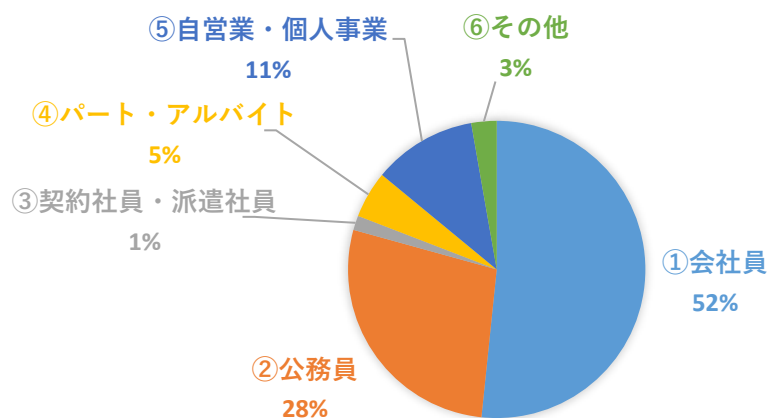
Q 3. こどもは何人いらっしゃいますか。

	① 1 人	② 2 人	③ 3 人	④ 4 人	⑤ 5 人以上	総計
①会社員	97	172	106	16	3	394
②公務員	23	110	63	13	2	211
③契約社員・派遣社員	3	6	3	0	0	12
④パート・アルバイト	17	13	7	2	0	39
⑤自営業・個人事業	16	37	24	6	3	86
⑥その他	7	7	5	1	1	21
総計	163	345	208	38	9	763

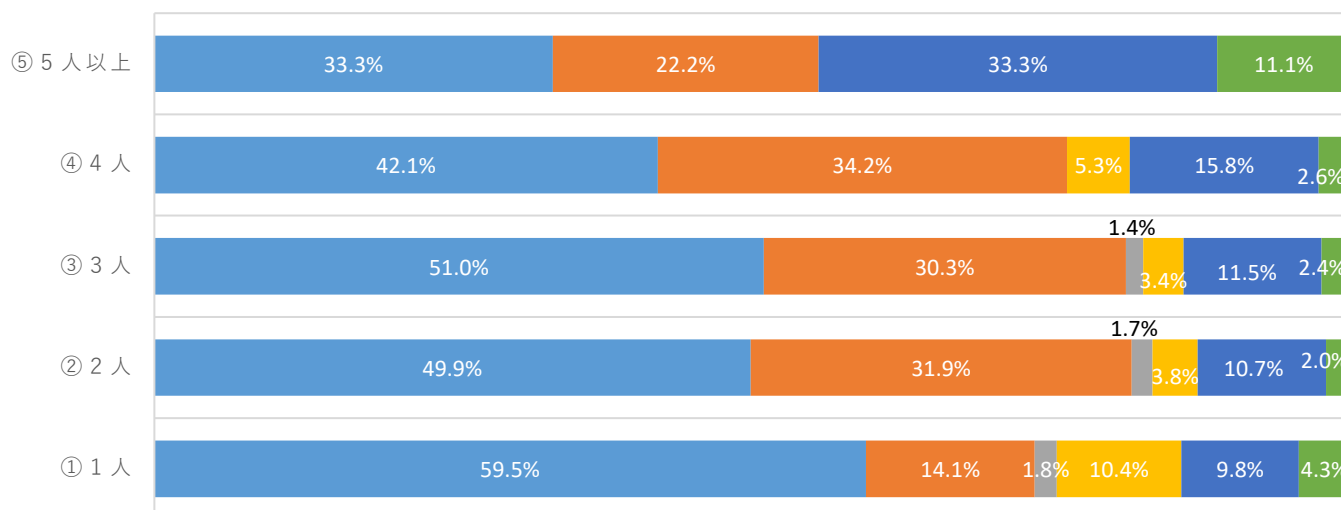
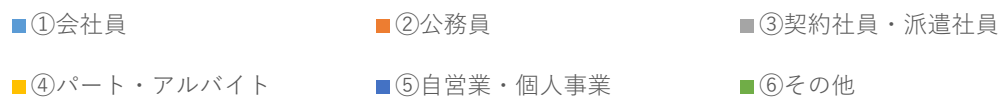
<分析>

回答者において、「①会社員」、「②公務員」の割合が高く、こどもが2人もしくは3人いる割合が高かった。

全体



こどもの人数別



【基本事項】

Q4.こどもの学年等で、該当するものを全てお知らせください。

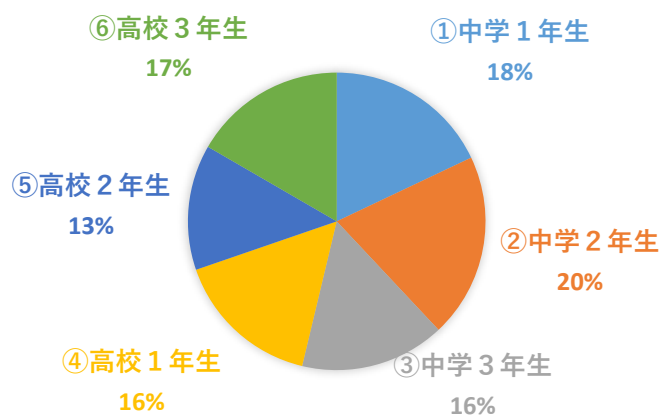
(複数選択可のため、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出)

	総計
①中学1年生	137
②中学2年生	153
③中学3年生	120
④高校1年生	122
⑤高校2年生	104
⑥高校3年生	127
総計	763

<分析>

省略

全体



【基本事項】

Q5.令和9年度に、大湊高等学校とむつ工業高等学校とが統合され、下北地区統合校が設置されることを知っていますか。

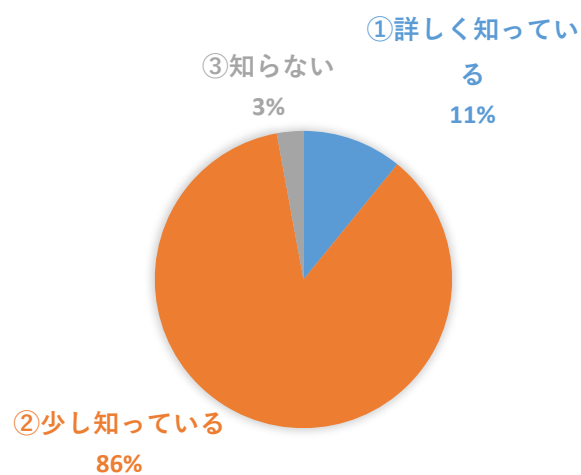
	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①詳しく知っている	13	17	16	14	9	14	83
②少し知っている	117	128	103	104	94	112	658
③知らない	7	8	1	4	1	1	22
総計	137	153	120	122	104	127	763

注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

<分析>

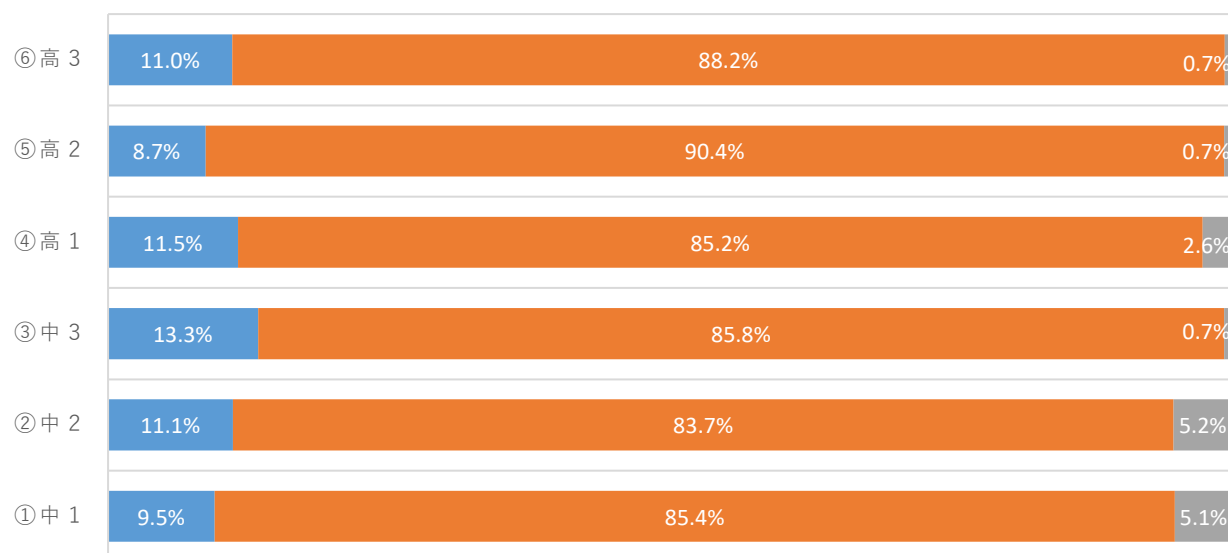
こどもの学年にかかわらず、「詳しく知っている」が10%前後、「少し知っている」が90%弱と、統合されることは知っているという結果であった。
統合校の当事者となる中学1年生の保護者の5.1%が知らないと答えている。

全体



学年別

■ ①詳しく知っている ■ ②少し知っている ■ ③知らない



【中学卒業後の進路について】

Q6.中学卒業後の進路について、あなたの希望をお答えください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①田名部高校	50	64	54	64	33	54	319
②大湊高校	6	22	21	17	22	29	117
③むつ工業高校	3	25	12	15	15	26	96
④下北地区統合校	29	0	0	4	4	2	39
⑤その他の公立高校	16	16	16	10	13	7	78
⑥私立高校	3	5	6	2	5	2	23
⑦専門学校等	0	0	2	0	0	1	3
⑧就職	0	0	0	0	1	0	1
⑨その他（未定も含む）	30	21	9	10	11	6	87
総計	137	153	120	122	104	127	763

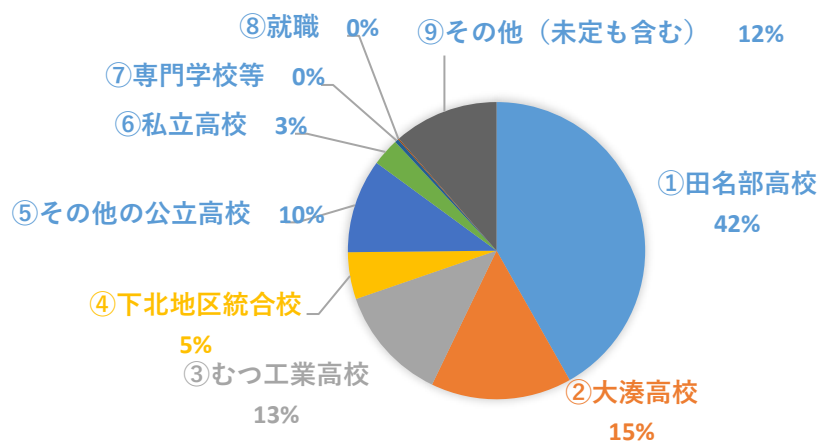
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

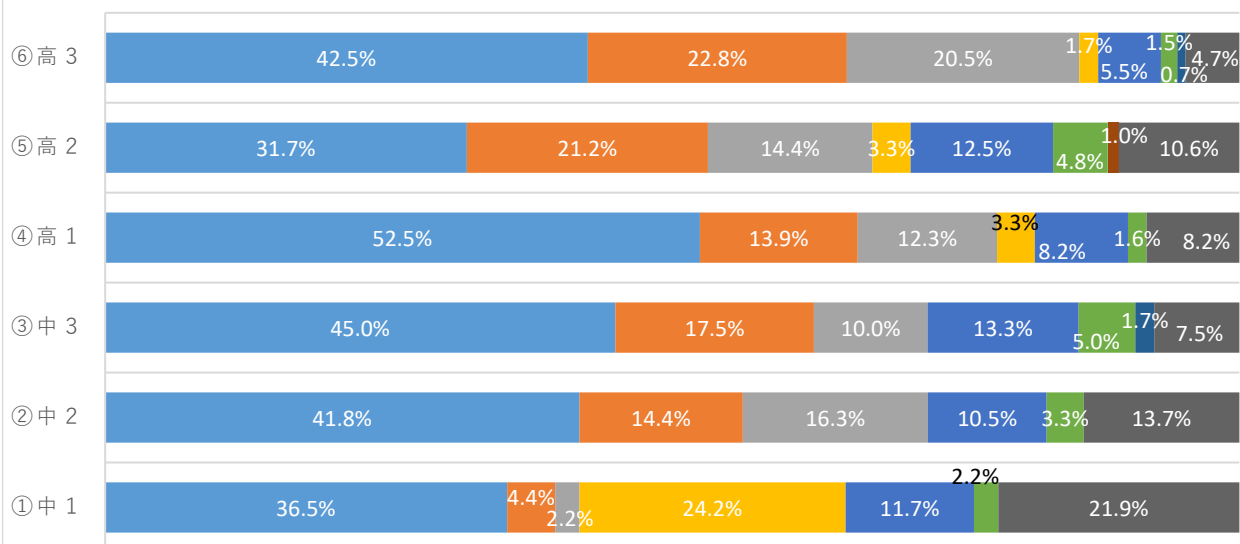
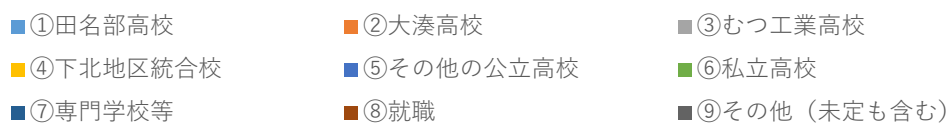
<分析>

約74.8%の保護者が、地元の高校への進学を希望している一方で、保護者の約13.2%が下北地区以外の高校への進学を希望していることがわかった。

全体



学年別



【中学卒業後の進路について】

Q7. 中学卒業後の進路先の地域について、あなたの希望でお答えください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①むつ市内	84	105	69	91	59	92	500
②むつ市外（青森県内）	16	18	25	10	17	19	105
③青森県外	12	11	4	9	8	8	52
④海外	0	0	0	0	0	0	0
⑤未定	25	19	22	12	20	8	106
総計	137	153	120	122	104	127	763

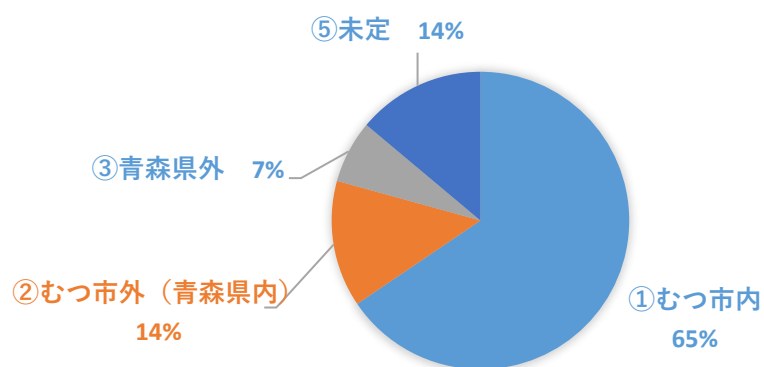
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

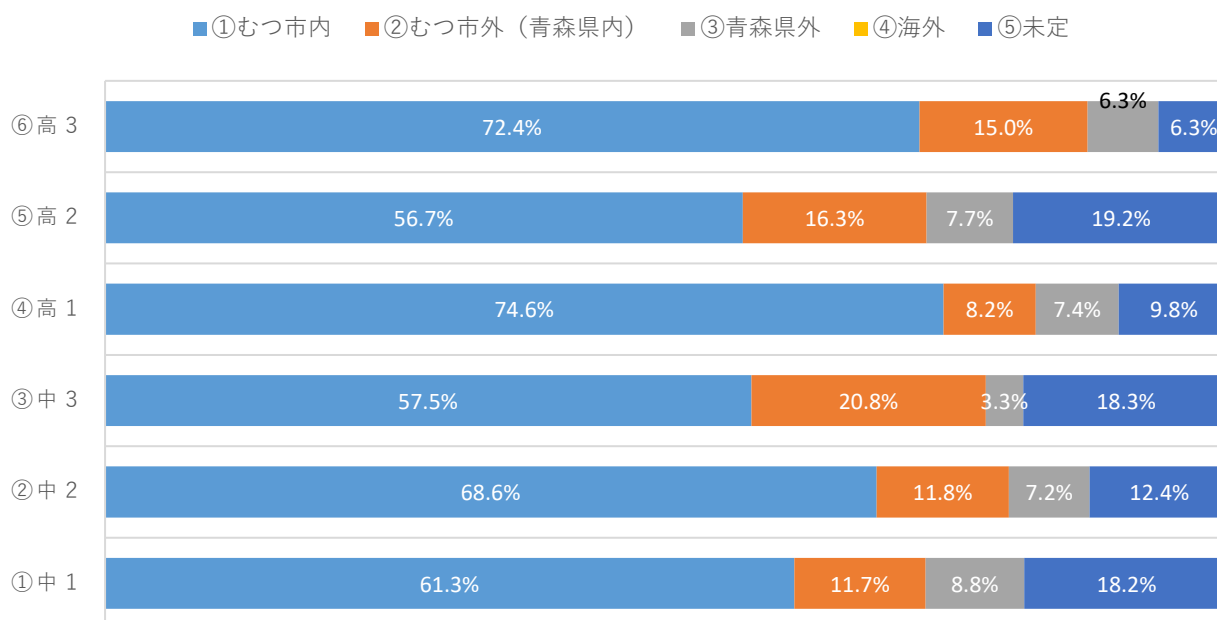
<分析>

保護者の希望は、むつ市内が65.5%、青森県内では79.3%となり、半分以上の保護者はこどもには地元に残ってほしいと考えていることがわかる。

全体



学年別



【中学卒業後の進路について】

Q8. Q6で、あなたの希望で①～⑦への進学と答えた方にお聞きします。

その進学先を希望した最も大きな理由を一つお知らせください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①学習内容	10	7	7	10	4	8	46
②こどもの学力とあった	8	12	9	8	10	17	64
③推薦入試がある	0	0	1	1	0	1	3
④部活動	4	5	8	2	5	5	29
⑤校舎や校風	1	2	1	2	1	0	7
⑥こどもの希望	14	34	31	26	25	27	157
⑦先生（学校）の勧め	0	0	0	1	0	0	1
⑧通いやすさ	40	38	28	32	28	34	200
⑨経済的負担が少ない	6	9	2	5	5	7	34
⑩必要な資格が取れる	8	9	4	4	3	3	31
⑪大学・短大等への進学に有利	13	11	12	13	10	10	69
⑫将来の就職に有利	6	2	5	4	4	5	26
⑬その他	2	3	0	2	0	0	7
無回答	25	21	12	12	9	10	89
総計	137	153	120	122	104	127	763

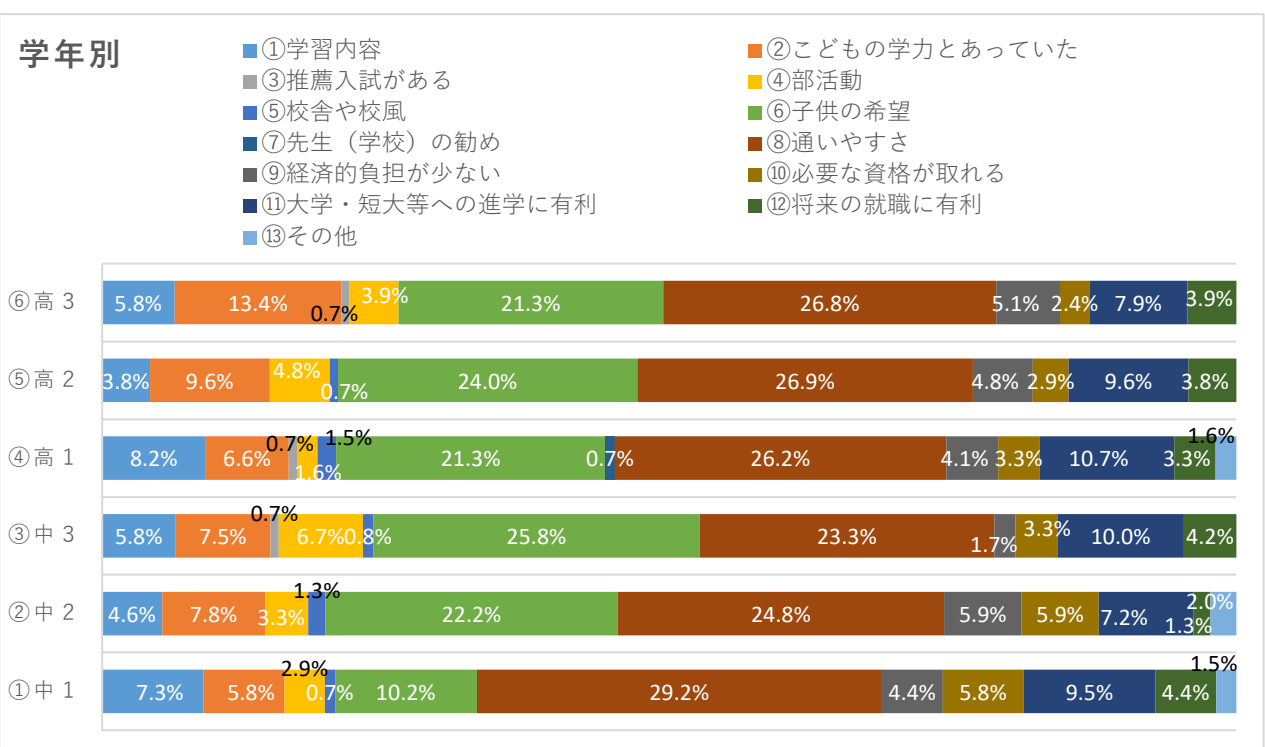
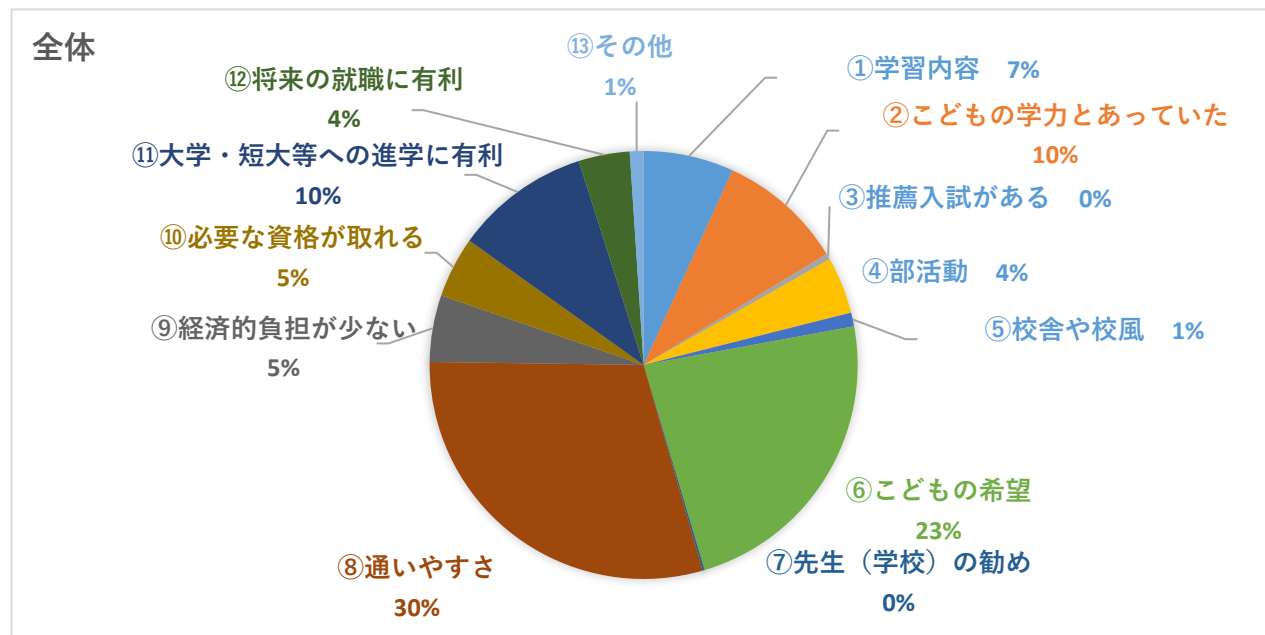
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

自由記述	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
むつ市外に出て、下宿や寮生活をし精神的に成長してほしい	1						1
本人がどんな道に進みたいかまだ決まっていない。	1						1
消去法				1			1
大湊高校、むつ工だと後輩ができず、学校の人数も少なく、文化祭なども可哀想だと思ったから。縦のつながりを経験できない。		1					1
小中学生時代から不登校の子の受け入れが可能な学校への進学を希望		1					1
現在不登校傾向あり通信制高校を希望		1					1

<分析>

生徒アンケート同様、「⑧通いやすさ」がもっとも高い割合となった。「⑥こどもの希望」が23.2％であり、こどもの意見を尊重していることが伺える。（※無回答を除く）



【中学卒業後の進路について】

Q9. Q6で、あなたの希望で⑧の就職と答えた方にお聞きします。

その最も大きな理由を一つお知らせください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①進学させる必要性を感じない	0	0	0	0	0	1	1
②こどもを自立させるため	0	2	1	1	2	2	8
③家業を継がせるため	0	0	0	0	0	0	0
④経済的な理由で進学させることが困難だった	0	0	0	3	1	3	7
⑤こどもが学校（集団生活）になじめないから	0	0	0	0	0	0	0
⑥先生（学校）の勧め	0	0	0		0	0	0
⑦その他	0	0	1	1	1	1	4
総計	0	2	2	5	4	7	20

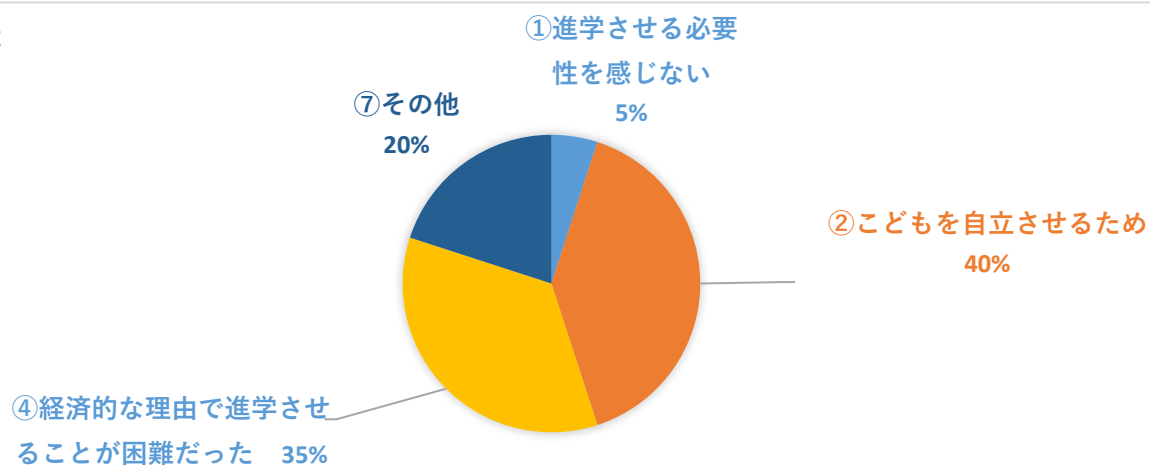
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

<分析>

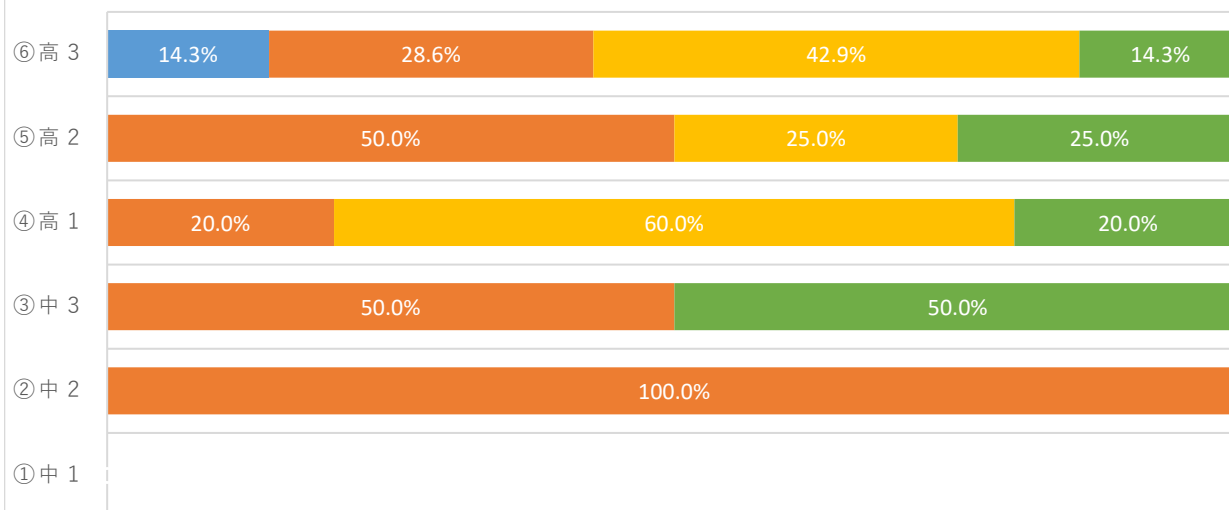
②こどもの自立及び④経済的理由の割合が高い。⑦その他の意見として・・・「やりたい事がないようなので就職。また、学力もないので就職。」、「子供が就職を希望した」、「子供の考え」、「自転車や徒歩で通えるから」

全体



学年別

- ①進学させる必要性を感じない
- ②子どもを自立させるため
- ③家業を継がせるため
- ④経済的な理由で進学させることが困難だった
- ⑤子どもが学校（集団生活）になじめないから



【中学卒業後の進路について】

Q10. 中学卒業後の進路について、こどもの希望とあなたの希望は合っていますか。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①合っている	116	132	109	112	92	114	675
②合っていない	21	21	11	10	12	13	88
総計	137	153	120	122	104	127	763

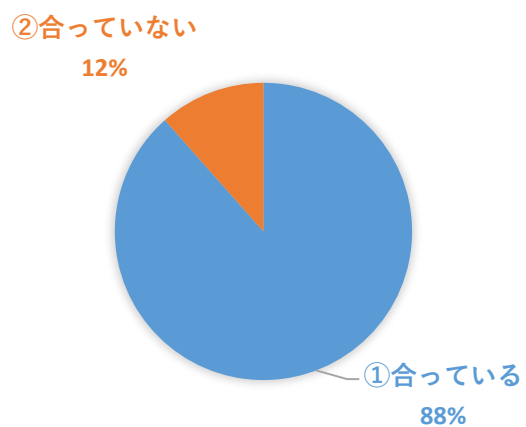
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

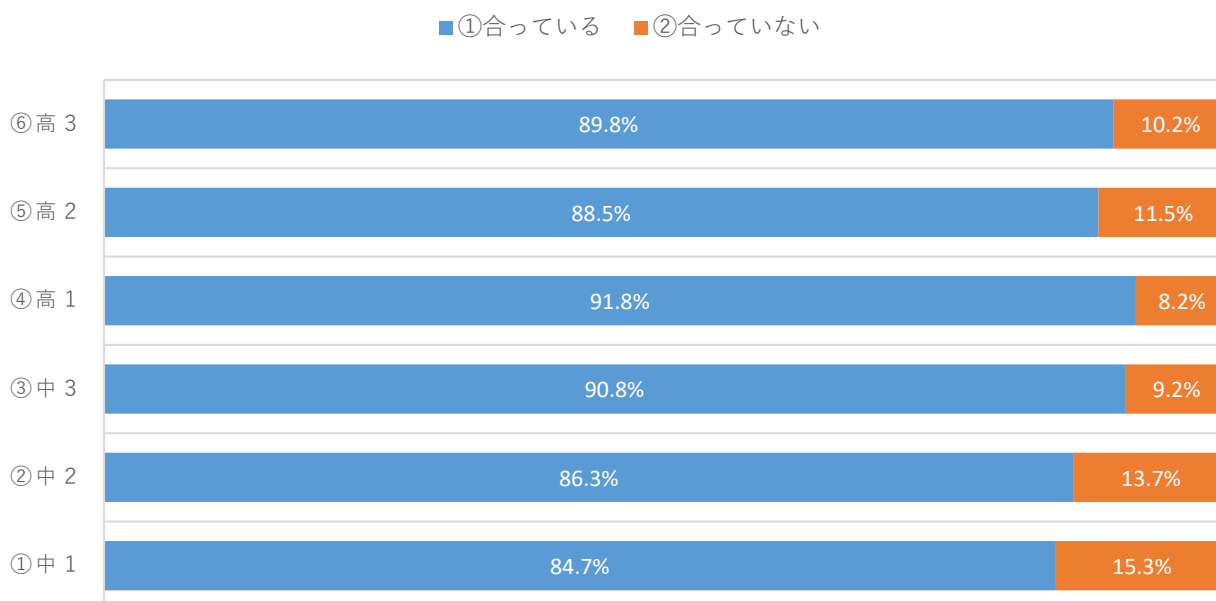
<分析>

こどもの学年にかかわらず、概ね保護者とこどもの意見が合っていることがわかる。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

Q11.高校卒業後の進路について、あなたの希望でお答えください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①国公立大学	48	38	41	47	32	41	247
②青森大学むつキャンパス	3	4	3	4	3	1	18
③八戸学院大学がむつ市に設置する看護学科キャンパス	3	3	4	2	1	1	14
④その他の私立大学	6	7	10	6	10	12	51
⑤青森明の星短期大学下北キャンパス	0	4	2	2	2	1	11
⑥その他の短期大学	0	3	2	4	4	2	15
⑦専門学校	16	16	10	14	10	18	84
⑧就職	15	28	10	28	26	38	145
⑨その他（未定も含む）	46	50	38	15	16	13	178
総計	137	153	120	122	104	127	763

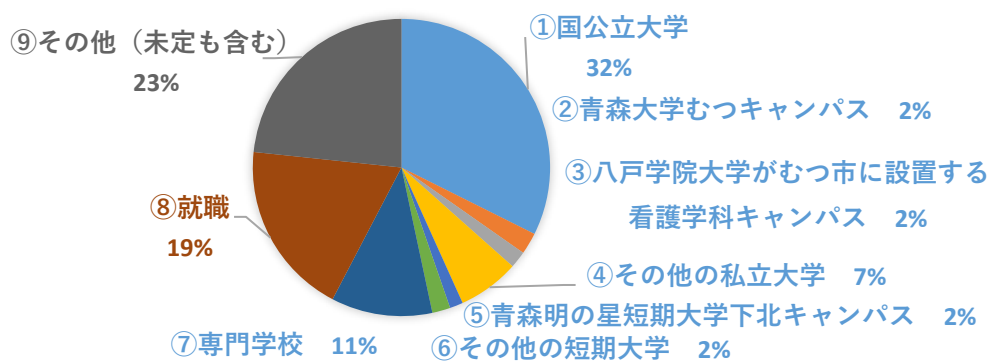
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

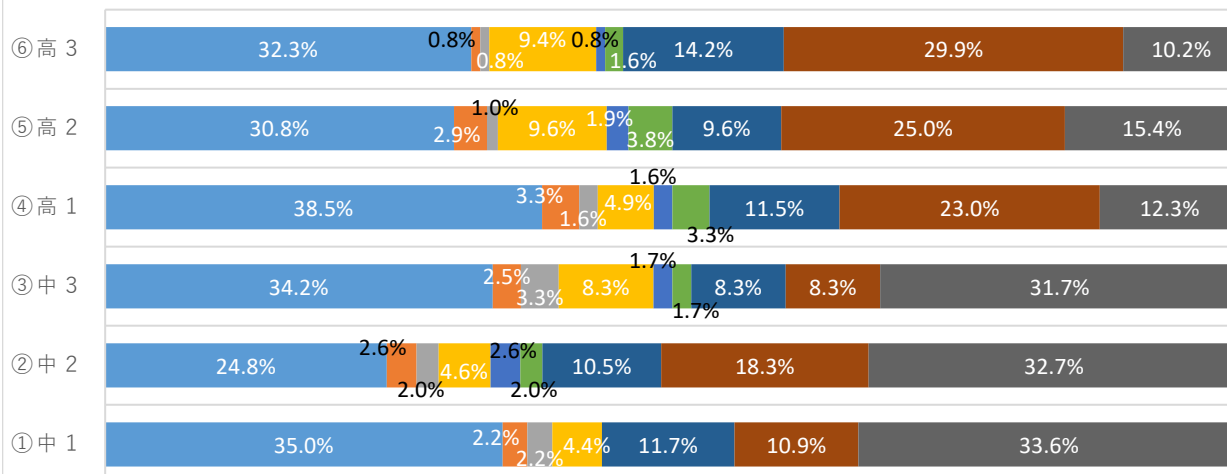
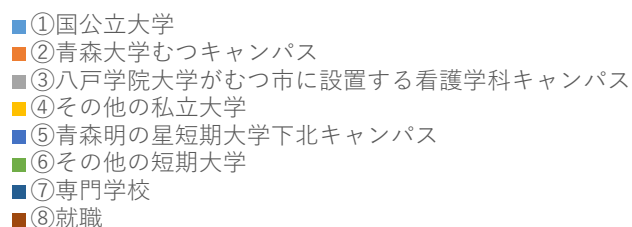
<分析>

進学希望が57.7%であり、半数以上の保護者が進学を希望している。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

Q12. 高校卒業後の進路先の地域について、あなたの希望でお答えください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①むつ市内	14	21	12	23	14	15	99
②むつ市外（青森県内）	22	20	28	31	25	43	169
③青森県外	55	50	37	36	41	50	269
④海外	0	0	0	0	0	0	0
⑤未定	46	62	43	32	24	19	226
総計	137	153	120	122	104	127	763

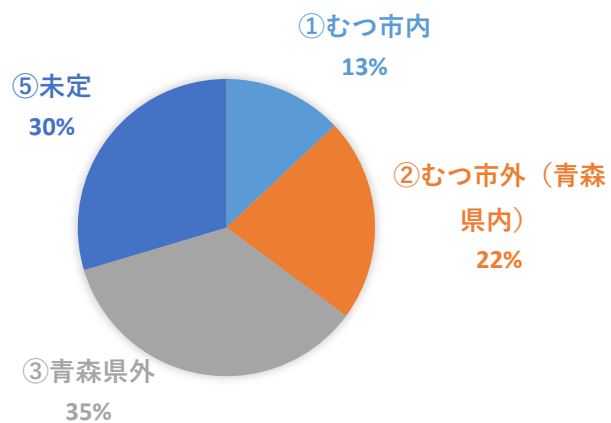
注) こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

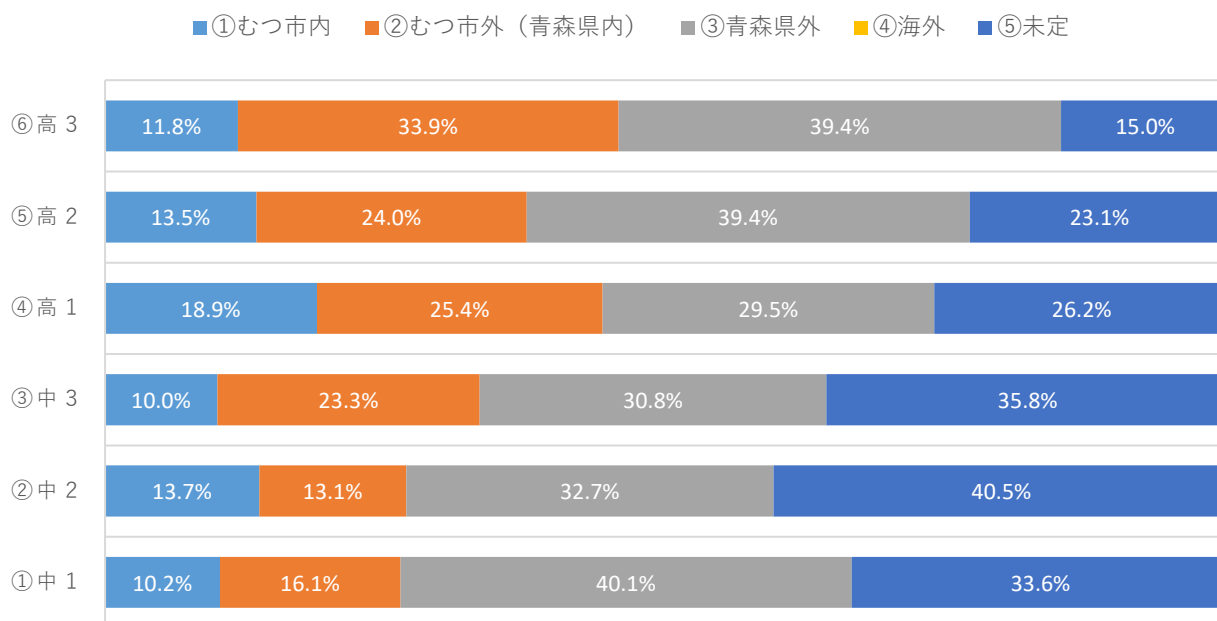
<分析>

青森県内を希望する保護者と青森県外を希望する保護者はほぼ同数となっており、青森県の高校にこだわらない傾向が読み取れる。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

Q13. Q11で、あなたの希望として①～⑦への進学と答えた方にお聞きします。

☒の進学先を希望した最も大きな理由を一つお知らせください。

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①学習内容（学部・学科）	13	16	12	8	12	20	81
②こどもの能力とあっていた	2	2	7	3	2	2	18
③推薦入試がある	0	0	2	0	2	0	4
④部活動・サークル活動	2	1	1	1	1	3	9
⑤校舎や校風	0	0	1	0	1	0	2
⑥こどもの希望	16	18	18	22	19	29	122
⑦先生（学校）の勧め	0	0	0	1	0	0	1
⑧通いやすさ	2	5	7	4	1	2	21
⑨経済的負担が少ない	15	15	11	21	12	10	84
⑩必要な資格が取れる	19	8	7	15	9	5	63
⑪オープンキャンパス等の体験	0	0	0	0	2	1	3
⑫卒業後の就職に有利	15	14	11	11	8	11	70
⑬その他	1	3	1	0	0	1	6
無回答	52	71	42	36	35	43	279
総計	137	153	120	122	104	127	763

注）こどもの学年について、中学1年生から高校3年生までの一番上の学年を抽出

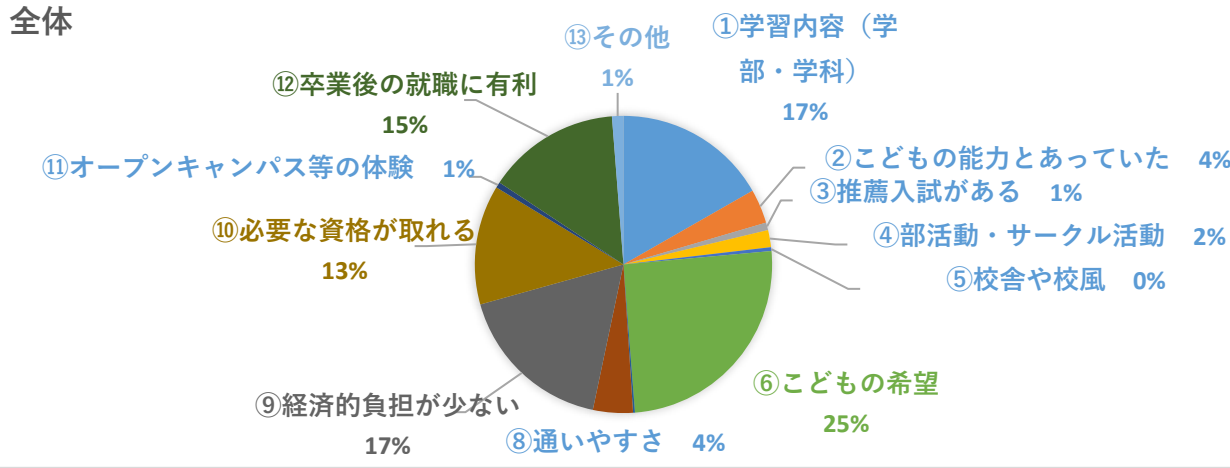
しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

その他の自由記述	②中1	③中2	④中3	⑤高1	⑥高2	⑦高3	総計
たくさんの人との出会い経験が成長になると思うから	1						1
将来の夢に向かって資格を取るため		1					1
経験値を高めたい						1	1
様々な経験や知識を身につけて欲しいので、少し都会で人生勉強して欲しい		1					1
現時点で不登校のため未来を描けない		1					1
将来の職業選択の幅を狭めたくないため。			1				1

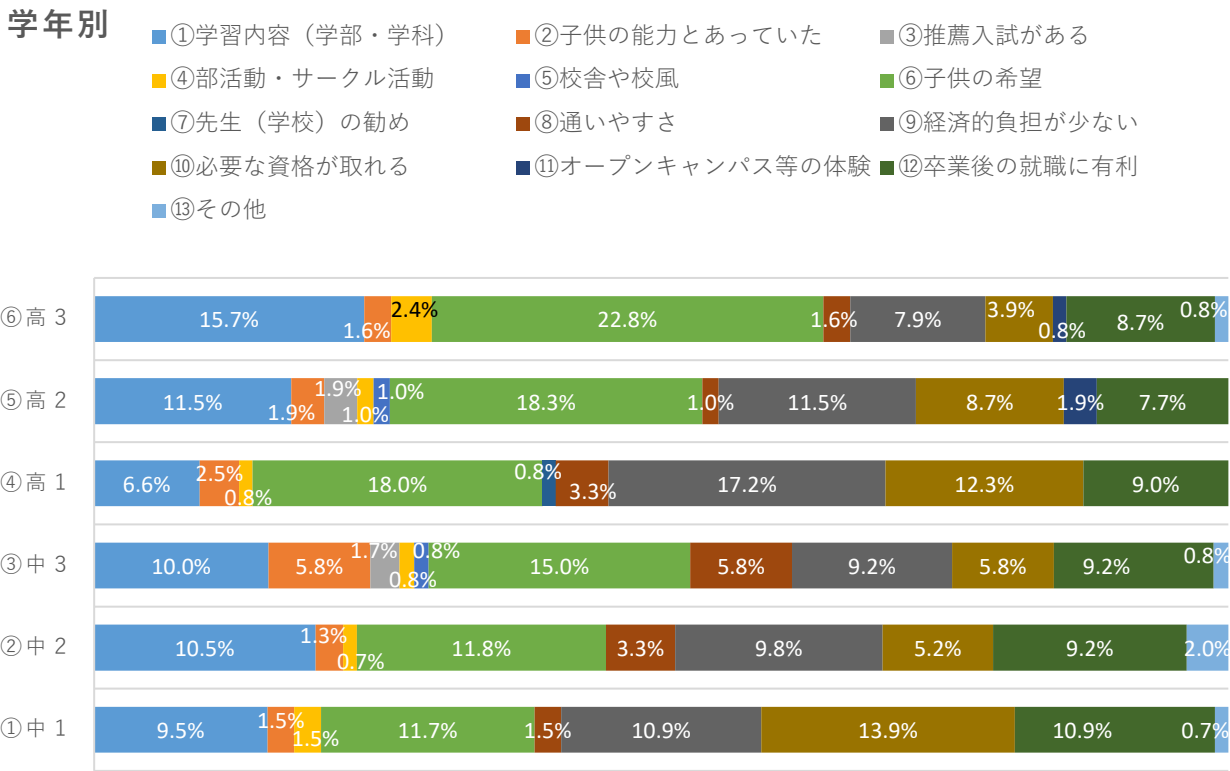
<分析>

保護者の意見では、「⑥こどもの希望」が25.2%と最も大きな割合を占めており、こどもの意見を尊重していることがうかがえる。（※無回答を除く）

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

Q14.Q 1 1 であなたの希望で⑧就職と答えた方にお聞きします。

その最も大きな理由を一つお知らせください。

	①中 1	②中 2	③中 3	④高 1	⑤高 2	⑥高 3	総計
①進学させる必要性を感じない	5	8	3	5	7	1	29
②こどもを自立させるため	1	5	6	9	10	2	33
③家業を継がせるため	1	1	0	0	0	3	5
④経済的な理由で進学させることが困難だった	5	4	2	9	6	0	26
⑤こどもが学校（集団生活）になじめないから	1	3	0	0	0	0	4
⑥先生（学校）の勧め	0	0	0	0	0	0	0
⑦その他	2	4	1	5	5	1	18
総計	15	25	12	28	28	7	115

注) こどもの学年について、中学 1 年生から高校 3 年生までの一番上の学年を抽出

しているため、こどもが二人以上いる場合、下の学年のこどもがいる場合があります。

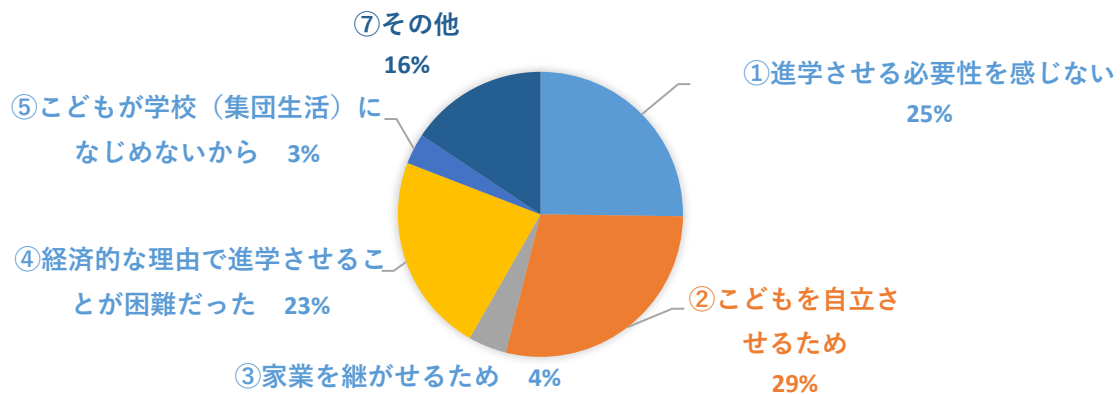
自由記述	②中 1	③中 2	④中 3	⑤高 1	⑥高 2	⑦高 3	総計
やりたい事がないようなので就職。また、学力もないので就職。					1		1
「子供が就職したいと言うから」「本人の希望」「子供の意見を尊重」	1		1	3	2	4	11
本人のやる気を感じないため				1			1
現在、就きたいと考えている職業が高卒から就職可能な為。		1					1
高校生活で志望の職業が見つければ進学も考えている			1				1
希望する就職先がある為						1	1

自由記述	②中 1	③中 2	④中 3	⑤高 1	⑥高 2	⑦高 3	総計
現時点で進学のために勉強する姿勢を感じられない事と、目的なく進学してほしくないため。				1			1
特にやりたい事が決まっていないから						1	1
こどもが進学を希望していない		1					1
大学まで何かを勉強する意識がないこと、暮らしてみたい土地や就きたい職種がハッキリしていたため						1	1
大学に行きたいとは聞いた事がないからです。						1	1
子供自身がなりたい職業	1						1

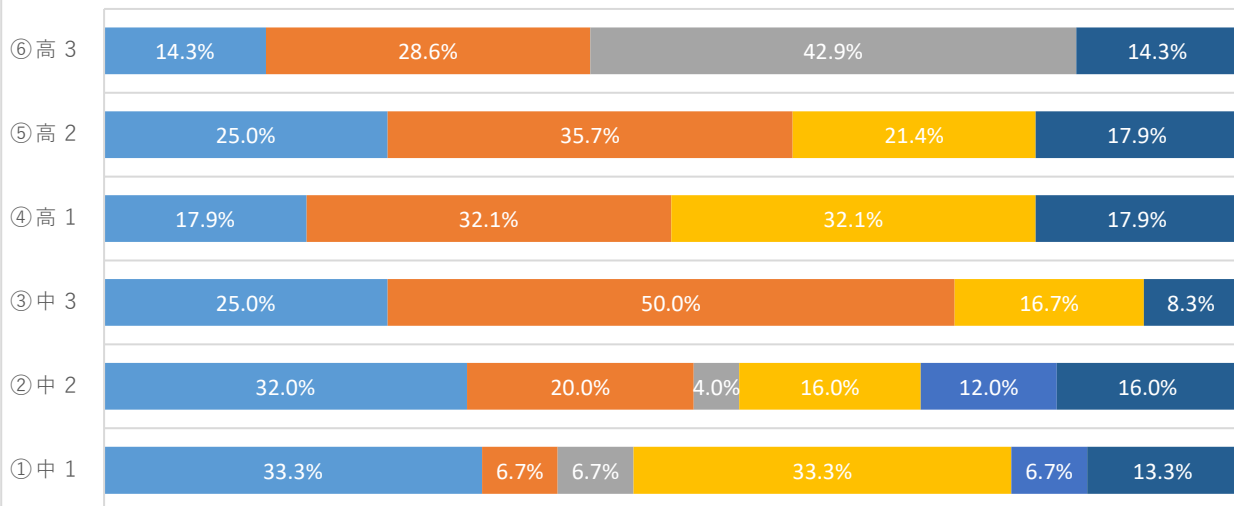
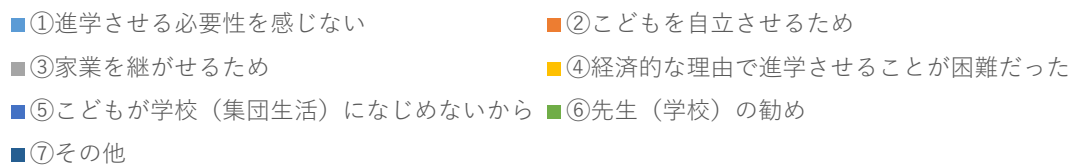
<分析>

「②こどもを自立させるため」が28.8%、「①進学させる必要性を感じない」が24.6%と高かった。「④経済的な理由で進学させることが困難だった」は19.9%となっている。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

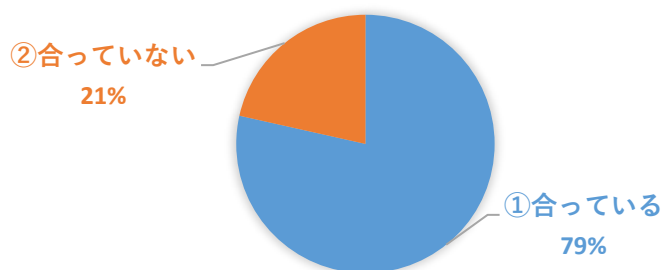
Q 1 5.高校卒業後の進路について、こどもの希望とあなたの希望は合っていますか。

	①中 1	②中 2	③中 3	④高 1	⑤高 2	⑥高 3	総計
①合っている	101	117	94	94	79	114	599
②合っていない	36	36	26	28	25	13	164
総計	137	153	120	122	104	127	763

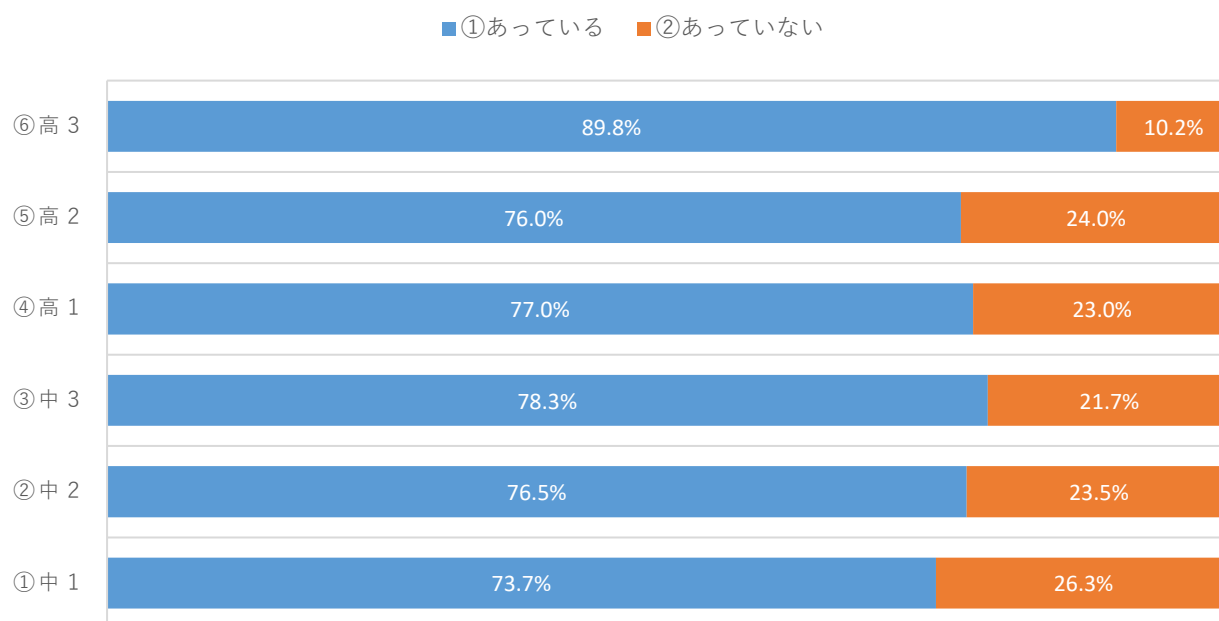
<分析>

Q 1 0 の中学卒業後の進路では、「①合っている」が 8 8 . 6 %であったが、高校卒業後の進路は「①合っている」が 7 8 . 6 %と 1 0 %低くなっている。こどもの希望と親の考え方に多少の違いが生じてきているのがうかがえる。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

Q16. 将来の就職を考えた時、こどもに取得させたい資格があればお知らせください。

(複数回答可)

	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
①英語検定の資格	51	56	42	40	34	27	250
②簿記	30	31	22	25	23	27	158
③FP (ファイナンシャルプランナー)	6	10	9	7	6	5	43
④宅地建物取引士	4	8	8	8	6	2	36
⑤保育士	7	18	12	11	10	10	68
⑥介護士	10	10	7	7	8	7	49
⑦医師	13	6	10	4	5	7	45
⑧薬剤師	27	18	14	17	20	20	116
⑨保健師	16	10	14	15	8	15	78
⑩看護師	27	26	17	23	14	23	130
⑪教員免許	12	19	27	19	22	17	116
⑫IT関係の資格	55	54	42	36	39	50	276
⑬その他	15	33	27	31	17	27	150
総計	273	299	251	243	212	237	1515

自由記述	①中1	②中2	③中3	④高1	⑤高2	⑥高3	総計
理学療法士	1		2	4	4	2	13
作業療法士					2		2
言語聴覚士					1		1
臨床心理士		1				1	2
公認心理師					1		1
臨床検査技師	1					1	2
臨床工学技士						1	1
精神保健福祉士						1	1
放射線技師・診療放射線技師・放射線取扱主任者			3	1		2	6
心理学専門資格			1				1
歯科衛生士			1		1		2
医療関係	2				1		3
獣医師、動物病院	1	1					2
自動車免許	1	1					2
船舶免許		1					1

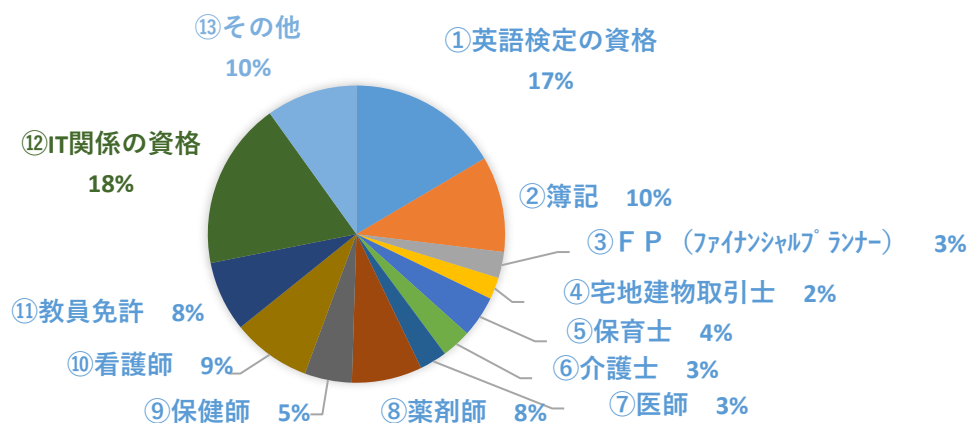
自由記述	①中 1	②中 2	③中 3	④高 1	⑤高 2	⑥高 3	総計
管工事施工管理技士、各種施工管理技士		1	1				2
建築士、建築の資格			2	3		2	7
インテリア						1	1
建設業関係		1					1
放射線取扱		1					1
危険物取扱者、乙四種		1		1		2	4
ボイラー技師						1	1
機械加工・機械保全				1			1
重機免許				1			1
整備士		1					1
ガス溶接				1			1
測量				1			1
電気工事士、電気系	1	2	1	2	1	1	8
電気主任技術者	1			1	2		4
工業関係				2		1	3
救命士、救急救命士				2		2	4
栄養士・管理栄養士			3			1	4
調理師、調理		2	2	3		1	8
スポーツトレーナー			1				1
トレーナー						1	1
おもちゃインストラクター	1						1
司法書士（司法関係）					1		1
社会福祉士				2	1	2	5
弁護士	1						1
公認会計士	1						1
登録販売				1			1
社会保険労務士					1		1
養護教諭						1	1
スクールカウンセラー						1	1
保育士			1				1
公務員資格			1				1
国家資格			1				1
理美容の資格	1	1	1	4	1	2	10
音楽関係		2					2
美術系				1			1

自由記述	①中 1	②中 2	③中 3	④高 1	⑤高 2	⑥高 3	総計
科学に関する仕事に必要な資格	1						1
海(海洋)の仕事に関する資格				1			1
外国語検定の資格 (TOEIC 等)		1		1			2
自動車整備資格			1				1

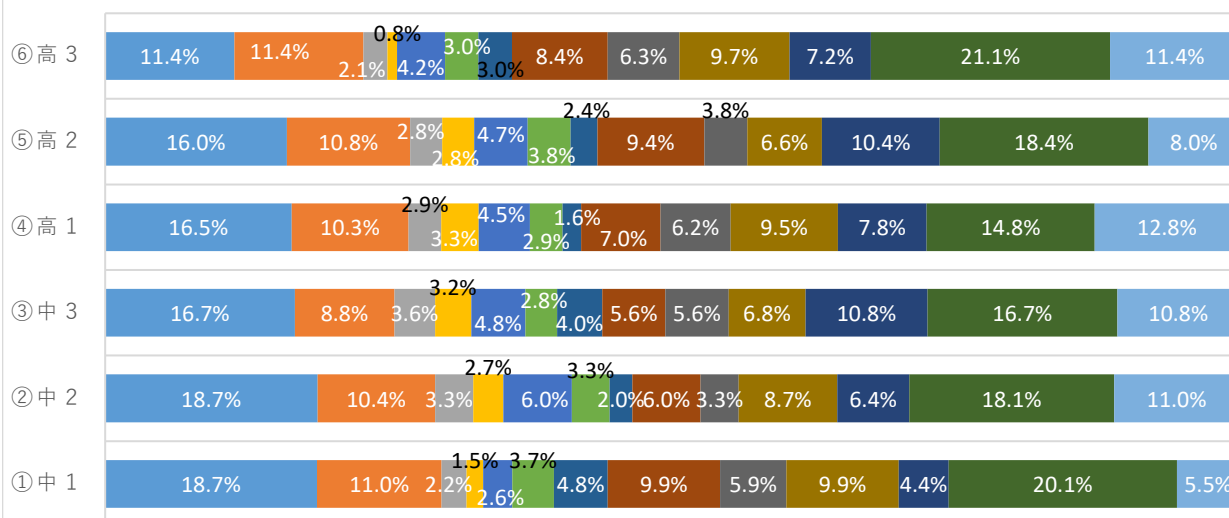
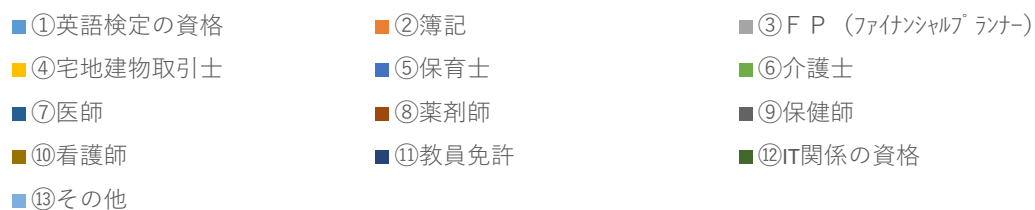
<分析>

「⑫ I T 関係の資格」が 18.2%、「①英語検定の資格」が 16.3%、と高い割合を占めたが、その他の意見も含め多様な考えをもっていることがわかる。

全体



学年別



【高校卒業後の進路について】

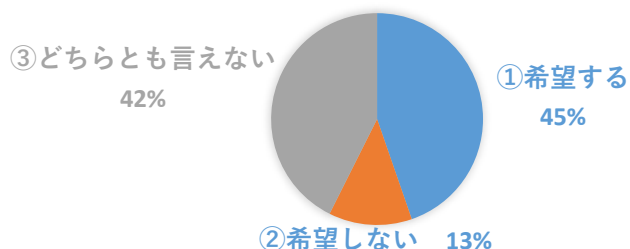
Q 1 7. Q 16で選択した資格取得が可能な大学・短大、専門学校がむつ市内にあれば、
こどもが進学することを希望しますか。

	①中 1	②中 2	③中 3	④高 1	⑤高 2	⑥高 3	総計
①希望する	65	61	63	55	49	48	341
②希望しない	19	16	14	14	12	22	97
③どちらとも言えない	53	76	43	53	43	57	325
総計	137	153	120	122	104	127	763

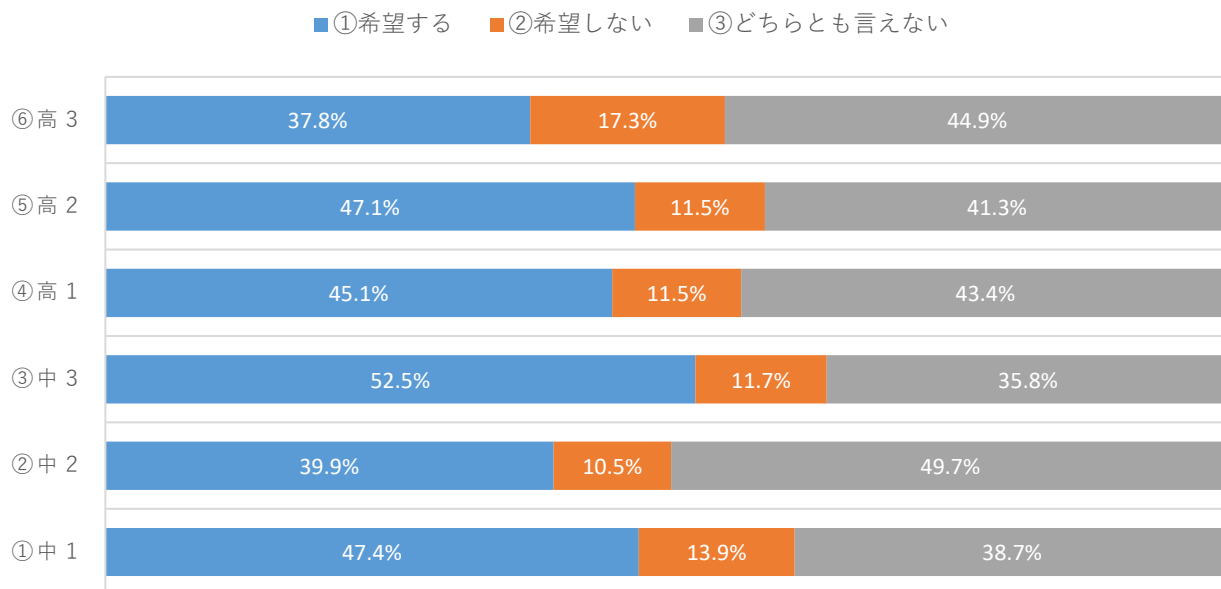
<分析>

Q 1 2 で高校卒業後の進路希望でむつ市内との答えが 1 3 . 0 %であったのに対し、希望する資格が取得可能であれば市内進学を希望するが 4 5 . 0 %となったことから、高等教育機関設置へのニーズが高いことがうかがえる。

全体



学年別



【むつ市への要望】

Q18. こどもの将来の夢の実現に向けて、むつ市に取り組んで欲しいことがあれば自由に記述してください。

意見
むつ市の生徒、他の地域から来る生徒が通いやすいように、駅から学校までのバスなどを安い料金で運営して欲しい。今現在、バス代が高いと聞いているので、そこが悩みです。
むつ市に通学するにも、3ヶ町村は近いようで、交通手段が限られていて、遠いと思います。(アパートを借りたり、下宿させるにも微妙な距離ですし。)通学手段も考えて欲しいと思います。
助成金
こども達のために魅力的な学校づくりを実現してほしい。高校は青森県教委の管轄になると思うが、地域やこどものニーズに合った高校再編を実現してほしい。県内の他地域において、統合によって特色のある高校、学科がどんどん減っている印象がある。また、統合による失敗例も数多くあると思う。財源、教員の人員配置等の問題はあると思うが、既成概念にとらわれず、時代に合った方法で教育の未来を築いてほしい。
総合建設業の人气が薄れてきてるので建設業関係の大学の設立や建設業のアピールをしてほしい
介護系以外でも進学幅があるといいと思います。大学に限らず専門学校・就職先企業等選択肢が少なすぎるので増やして欲しいです。
学校に通う際の交通費が大きな負担となる場合が多いので無料バスなどがあればとても良いと思います
市外から、高校に通う場合、下宿先が少ない
将来何になりたいかがない子供たちにたくさんの選択肢があればいいとおもう。
返済不要の奨学金の拡充、中学校での学力強化
歯科衛生士の資格が取れるところもあると嬉しい。
本人は大学に行きたいと勉強を頑張っているが実際経済的に厳しいので行かせてあげられるか不安。大学まで義務教育にしてほしい。
むつ市内で、希望する内容の大学があれば、お金がかかりすぎず、子どもの支援をし易い環境だと思います。
子供達が、自分で希望や夢を持てる環境づくりに力を入れて取り組んで欲しい。田舎だからとか、お金がないからとかで夢をあきらめなくてすむ事を願っています。
自宅から通える、資格取得できる専門学校が多種あると良い。キッザニアのような職業体験する場所があるといい。
青森市、仙台市、東京都内にむつ市運営の下宿先があるとイイですね。
こどもの話をよく聞いて、進みたい道をアドバイスやサポートをして欲しいです。また、色んな選択があることや情報を入れて頂きたいです。
医療関係に進みたいのにむつ市の病院が少ないので就職時に不安があります。

意見
通学にかかるので、寮があれば安心できる。
教育に係る全ての費用について無償化
塾などへ通う際の料金補助を検討してほしい。
小学生のまちなか探検や中学生の職場体験のようなものを校内の授業としていがいにも、まちでキッズイベントよく開催したら地元への職の興味も増すと思います。例えば下北では無いがキッズりんご会とかゆうような催物系です
子供を育てる上で一番お金が掛かるのは大学生です。奨学金をもっと簡単に借りられたら助かると思い
交通の便の確率
就職先が少なく、また娯楽としての施設が少なく定住するにあたって、若い人には魅力が足りないと思う。学校等誘致したとしても、その後むつ市に就職するかは考えると思う。
市内に選べる大学や専門学校が増えれば選択肢が広がると思う
?参考書やワークブックの購入費について、助成してほしい。
大学、高等学校の完全無償化
・高校、まずはスクールバスの確保を検討してもらいたいです。
頭の良い子供に対して、incentiveがあると良い。
特にないです。郡内に、居るより、他の所をたくさん見て勉強や経験をして欲しいです。
将来的なエネルギー半島として、地元雇用の強化と必要な知識の場を提供、資格取得に向けた働きかけがあるとよい。先を見据え、若者が地域に残れるように頑張ってもらいたい
進路決定までのプロセス、複数パターンの事例、ストーリー等を、子ども達に紹介してほしい。自分の進路を自ら身近なものとして考えるきっかけになるようなもの、お話、がのぞましい。と思います。
むつ市に住んで大学が通えるなら経済的にも楽になるので望んではいますが、勉強の他に部活やサークル等やりたいことが限られてしまうのは残念だと思うので、大学での勉強後の活動をもっと広げられたらいいなと思います。また、スポ少になったスポーツにもどんどん参加するとか年齢の垣根を越えて交流が広がればいいなと思います。
大湊高校とむつ工業の合併は本当に子どもたちにとってベストな選択となるのでしょうか？少子化が進んでいるのは理解できますが、進学先が、二択になるのはあまりに夢がなく魅力がありません。まったく具体的な話も聞こえてこないのでも2年で開校できるのか不安でしかありませんが、東北または県下初の新学科の設置など、人が集まるような明るいポジティブなニュースが聞こえてきたらいいなと期待しています。
特にない
スポーツ活動の活性化。中学から硬式野球がやれる環境など。むつ市でも希望の職業が実現できる仕組み。子供が離ればむつ市は人が居なくなる。でも実際やりたいことは市外にある。となると、多くの子供が市外に行く。ニーズを的確に捉えて欲しい。

意見
どこで経験を何年積んでも、帰ってこれる場所であれば良いと思う。ここから出ないで学業、就職という考えでは、むつ市北の将来性がない。親の収入の格差せいで、将来の選択肢も狭まってしまうのではなく、どこで何を学んでもいいように、高校や大学の選択窓口を広げ、学費補助、居住補助、食費補助があるとより良いと思う
バスの無償化
国と対等に交渉を出来る立場にあるのですから政治、偽医療、利権、宗教、企業、グローバルと言う名の売国、日本を切り売りし むつ市や 子ども達の精神や未来を壊す事は止めていただきたい。田名部は英語でtitled lady (legal wife of an important official)、政所(まんどころ)と訳される様に陸奥の国が英語でalternate name for Mutsu, the Land of the Rising Sun日出ずる国と訳される様に先祖や子孫に恥じない様、今だけではなく過去、消された本当の歴史を見聞し 未来をつくる知識と精神を今だけ金だけ 自分だけでは無く我々臣民の為に何卒 よろしく願いいたします
様々な職業の案内や、実際になるにはどのような進学先、資格等が必要なのかをもっと掘り下げて知ることができるコンテンツや企画で、将来をもっと具体的に考えるきっかけがあると良いのかなと思います。
むつ市に短大や大学が出来るのは本当にすごいと思います。欲を言うなら、もう少しいろいろな科を増やしてくれたら自宅から通え経済的負担も少なく子ども達が市外や県外へ流れることがなくむつ市へ住み着いてくれると思います。
何をするのにも経済的な状況が絡んできます。色々ともつ市でも取り組んでいただけたらと思います。が、ひとり親にとっては、日々の生活が苦しいです。それを理由に子供に我慢してもらうことに不甲斐なさを感じる日々を過ごしています。今よりも経済的にもう少し補助の形をとっていただきたいです。
IT関係や芸術分野などの職業の体験できればと思います。興味があってもなかなか触れることがない分野なので、もっと身近にあったらいいのにと常々思います。
奨学金制度の充実。むつ市内に就職する学生は返さなくてもよいとか、無利子にするなど、多くのことを学んだ学生たちが、むつ市に帰って来るようにする。むつ病院に就職することを条件に奨学金制度を利用している話を聞いたことがあります。他の企業や会社、市役所など、様々な働ける場所とタイアップして、県外で学んだとしても、むつに戻ってこれる、そして力を発揮できる就職先が必要だと思います。
今でも、給食費無償化、医療費無料、などいろいろ尽力していただいておりますが、やはり親の収入が向上しないことには、子どもに対してのお金のかけ方が変わらないと思います。今や都会と同じ物価と聞きました。その中で今のままの賃金だと、到底学費に捻出できません。
むつ市在住ではありませんが、どの学校へ進学するにも遠方なので経済的負担が大きいです。3人子供がいて、一番上は奨学金を3つ借りて進学しました。二番目も大学進学を希望し、同じく奨学金を3つ借りる事になると思います。3番目は小学生なのでまだ猶予はありますが、上2人の仕送り等で貯金出来るか不安です。経済的な支援が一番必要かと考えています。

意見
他県の私立大学へ進学しても 将来 青森県内へ就職出来るような経済面の配慮 奨学金等の手厚さを充実して欲しい
学校に通う生きづらさを感じている子供が通える場所があると聞きました。市内限定ではなく近隣の市外の子供達も通える環境に整えてほしいです。困っている子はたくさんいます。
今後も大学、短期大学のみならず、専門学校等の開校を推進して行ってほしい。それと同時に、卒業後もむつ市で仕事をしたいと思える様々な環境づくりも進めてほしい。
国公立大学へ進学するための学力要請講座等を定期的にもむつ市で開催して頂ければ助かります。
経済的に余裕のある家庭は進学が可能ですが余裕のない家庭は借金をしてまで進学させることは困難です。たびたびこのようなアンケートがきますが、進学希望の家庭に聞いてください。大学が近くにできたからといって何百万もかかる授業を払えない家庭もあります。奨学金を使えばいいと皆さん言いますがメンタルの弱い人がいる昨今の世の中で就職しても仕事が続かない場合、どうやって借金を返していくのか、不安です。大学卒業後、奨学金をどのように返済しているのか、返済できているのか、そっちの方を教えてもらいたいです。
経済的理由で進学を諦めるという家庭がなくなればいいなと思います。高校であれば、制服代が負担になる等。大学は、授業料が高校までとは違い、だいぶ高くなるし、授業料以外にも住居費、生活費、交通費等いろいろと必要なので自宅から通える大学があるというのは、お金の負担を減らせるので本当に心強いです。誘致の実現、嬉しく思います。ありがとうございます。
転校生や他の地域から進学して来るこどもたちに対して、身近な友だちとの関わりが強く受け入れが難しい。他地域の高校や中学校との交流を増やし、視野を広く持たせてほしい。
むつ工と大湊が合併してもいいのですが、その間むつ工のグラウンドが使えず野球部の練習がまともに出来ない状況です。今、高校生でしかできない仲間との部活、一生懸命やっている生徒に対してその対応してくれないことは困ります。県立なのでむつ市に言っても仕方ないとは思いますが、個々の夢を持ってやっているむつ工硬式野球部のためになにかしらの対応してもらいたいです。
タブレット、ノートパソコンを長期休み意外にも貸し出して自主学習出来る環境にして欲しい。せっかくあるのに普段から使えないのは勿体ないと思います。
看護学科で学べる環境ができて感謝しています。むつ市から大学及び専門学校など進学を希望となれば、自宅から通うことはできず、奨学金を借りなければいけないなど、結構な負担です。地元で学べて地元及び県内で就職できたら、若い人の人口減少を防ぐことができるのではないかと思います。住みやすいもっと魅力のある町作りに期待しています。
多子世帯です。人口が減少している昨今、子どもを真ん中に考えてくださり本当に感謝しています。国では来年度から多子世帯への大学授業料無償化に取り組みましたが、多子世帯は一人っ子に比べて非常に多くの負担があります。また、2人目の子どもを希望しても将来の経済的負担を考えるとなかなか・・・という方も多いと思います。ぜひ大学授業料無償化については2人目以上は無償になるような社会の実現に向けて国へ要望をしていただくようお願いします。

意見
こどもにはしっかりとした夢があります。経済的理由でそれが不可能となってしまうのは本望ではありません。ひとり親で低所得ではなくとも日々の生活が厳しい事には変わりなく、働けば働くほど経済的サポートが受けられない現状に疲弊します。親も子供も悩む事なく将来を見据えていける安心が欲しいと思います。むつ市の役に立ちたいと強い希望もつこどもの夢が狭き門にならないよう市のサポートを切に願います。
むつ総合病院の看護師です、15年以上ここで働かせていただいています。現在看護師が足りない状態、年休も取得できていない、現時点で1日しか取得できていません。看護科の内容を少し聞きましたが、学費免除で10年の縛りがあるなか若い看護師たちが10年働ける環境ではないと思っています。夜勤回数も多く、結婚、子育てをするにもいつも子供達に我慢してもらっている毎日です。実習病院になると聞いていますが、まずは現在のむつ病院の状況をもっと把握していただき、改善してからにしてほしいと思います。現在の状況にプラスして実習生の受け入れとなると人手不足で仕事も回らない、残業が増えるなど考えていただきたいと思います。もし、今後自分の子供が八戸学院の看護科を希望してもわたしは進めないと思います。これからむつ市を良くしていきたい、よい看護がしたい！といつも思い仕事をしていますが、本当に人が足りなくて、年休も取得できずにモチベーションが下がる毎日です。せっかくの機会でしたので、書かせていただきました、よろしくお願いいたします。
魅力ある働く場所があれば子どもたち戻ってくるのではないかなと思います
東北の大学のオープンキャンパス引率(親子参加、子のみ参加等可)
高校が少なすぎるから選択肢が無い。遅かれ早かれむつ市外に行かざるを得ない。子供の人数が少ないのは分かるがオンライン授業などで学べる学校を増やしてほしい。
学校への通い易さを考えると、大湊線は特に冬、運休が多くて、送って行ける人がいない日は休ませるしかなくて、学校に行きたくても行けなかったりするそうなので、せめて朝だけでも横浜町までスクールバスがあれば、むつ市内の高校に通う生徒をまとめて乗せて、各学校まで送迎してもらえるとイイなあとと思います。
他県などからの移住先に選んでもらえるような魅力ある市になれば子供たちの未来も明るくなるような気がする。
むつ市から奨学金を借りれば将来むつ市に戻ってきて働きたいと思うのでは？
交通の不便を解消してほしい
母子家庭や、生活保護世帯への援助だけではなく、両親で必死に働いて子供を養っている子育て世帯への援助もしてほしい。両親が仲良く子育てをしている世帯に援助をしないで、どうして子供が増えて行くと思いますか？むつ市は、高齢化ですが、今の子育て世帯に援助しなければ、子供、若者が増えません。それに踏まえて、高齢者を面倒見る人が居なくなるのが現状です。むつ市は、子育て世帯への待遇が悪すぎる。
夢を叶えるには厳しい環境だと思うので、少しずつでも進学や就職がしやすいむつ市してほしいです。
子供の数が少ないからといって通える学校を減らし選択肢を少なくする事は最適な結論とは言えないと感じる。
新たな奨学金制度の創設

意見
介護、保育、看護は現実的に大切な分野ではありますがむつ市の人口減少や今後のためにも"むつ市の特産物"などにこだわり過ぎず地域の差を無くしても全国で戦えるようなIT分野や海外も視野に入れたような稼げる職種の企業を誘致できないかと思います。むつ市を離れる原因の多くは「稼げない」「やりたい仕事にむつ市に無い」だと思うので。夢のある仕事をするには県外や都市に行くしかないという現状を打破し、そういったことを学べる場と先生の教育をしてもらえたらと思います。学校の三者面談や教師の方々の進路の話を聞いても「教師は教師の生き方に特化していて、それ以外の職種での子ども達の働き方へのアドバイスがほとんど出来ていないよなあ」と思うことが多いです。早急に対策したほうが良いと思います。よろしくお願いいたします。
奨学金を借りて返済するのは子供達なのに、保護者の所得に応じて返済するのは不平等では？全ての子供が平等に返済出来るようになってほしいです
大学のオープンキャンパスツアーなどあれば参加したいと思います。
学費の助成。3番目の子が現在大学生1年生で4番目の子が高一。とても下の子を大学に行かせる学費を捻出できません
中学の部活問題。特にバスケがなくなってしまうのが心配。保護者だけで運営するのは限界がある。大人の都合で子供のやりたい事を無くすのはあまりにも可哀想。市でお金を出して指導者を雇うなりして欲しい。今の時点でどう動いているのか知りたいです！よろしくお願いします！
公務員などの給料の待遇をみるとむつ市内であれば経済的には困っていない層に当たるかもしれないので、さまざまな支援制度の外にいる。保育所にかかるお金から高校の授業料まで全てフルであり、大学進学時には奨学金の対象外。なので貯蓄が必要になり、こどもの夢で将来的にむつ市外の高校に進学、その後首都圏の私立大進学を望んだ場合、いくら公務員であっても経済的に苦しく、高校は市外にでる子どもの夢を諦めさせなければならないことがあったし、大学もできるだけ国公立という縛りがあったりする。このような支援の外にいる現状が、経済的中间層の子どもが1人、または無理してやっと2人という結果になるのではないかと考えている。低所得層の支援ももちろん必要だが、公務員等の世帯への支援の幅を広げてもらえれば助かるし、そこから第3子まで産み育てようという選択肢もあり得る。そうすると少しはむつ市の少子化の歯止めにもなるのではないかなと思う。また、大学進学のために第一希望ではないが市内の進学校と言われる高校に進んだが、生徒の学力差も大きく学習に対するモチベーションも下がっていると感じたし、生徒指導面の問題も子どもの周辺で多々もあり、大学進学にしっかりと向かえる学習環境ではなかったと感じており、正直、高校を市外にさせていた方がよかったのかもと後悔した。大学進学時に結局自宅外に出すので経済的にみて高校は地元となることも構わないが、そうであれば市内の高校の教育面での質の向上と充実をお願いしたい。大きな都市の生徒と大学進学にスタートラインが大きな差にならないような支援の取組を希望する。
むつ市から大学などは通えないので、その分資格が取れるような大学など増やして欲しい。八戸や青森へもなかなか冬などあり通えない為、むつ市で通えるとよりむつ市がよくなると思います！医療関係がやはりむつ市は少ないので看護学校など医療に特化した学校があれば嬉しい。

意見
補助金や奨学金などの充実
全ての学部がある国公立大を設置するよう取り組んでもらいたい。今の環境で、経済的負担考えると子供を産む選択をしない人も増えていくと思います。市民が穏やかに暮らせるように少しずつで良い変化
子どもが県内の大手会社に就職し、大学と会社を辞めないことを条件にした大学の奨学金など、家計への負担が少ないとありがたい。
子供が就職しやすい環境にしてほしい
将来の夢につながるかは分かりませんが、美しいものにを観る機会がたくさんあると感性が磨かれると思うのでむつ市に、美術館があれば良いと思う。
進学や就職にあたっての金銭的な支援を充実させて欲しい。低収入の家庭は進学が厳しい。奨学金は返すのが大変そう。
リモートワークが普及した今、むつ市という僻地でも、アイデア次第で魅力的な職業従事、事業展開は可能。起業応援のプログラムはあると認識しているが、実績を作って「故郷に帰って仕事がしたい」と思える地元にしたい。自分にもなにができるか考えたい。この思いをどなたにそう伝えばいいのか
むつ市に青森大学のキャンパスができたこと。そして、特別優遇制度があり良い取組みと思いました。しかし、薬学部がなく、青森キャンパスの入学となるため、その制度が使えず残念に思います。保護者がむつ市在住で仕事もむつ市内や大学卒業後、むつ市への就職などの条件があってもよいので、薬学部入学者への優遇制度もあると嬉しいですね。
資格を選んで取れる大学
奨学金制度の充実を望みます。
大湊や大平方面から田名部高校前まで1本で通えるバスがないので、雨の日や冬の日にとっても困っている。通学時間帯だけでも田名部高校行きのムービィを出してほしい。大学進学を考えると、ほとんどが県外に進学するが学費の他に家賃などお金がかかるので、援助してもらえるとありがたい。保育園や給食費の無償化などの恩恵を受けていない学年にも支援してほしい。
むつ市内の高校にも英語科や看護科、美術科のような特色のある科があると子供達の選択肢が広がるかなと思います。教師や募集人数とか考えると難しいところかとは思いますが。
なかなか遠くの大学のオープンキャンパスに行くのが経済的にも時間的にも大変なのでむつ市で大々的に色々な大学の合同説明会をして欲しい。またオープンキャンパスに参加するための補助金などがあるとすごく助かります。
給付型の奨学金制度
むつ市には働く場所、店舗、会社などが少なすぎます。将来、むつに帰って来たい、安心して働いて住みたいと思えるような地域環境が欲しいとずっと思っています。
むつ市にのこる子供が増えたらいいなと思います。

意見
進学するには、まだまだ経済的負担やいろんな制限が多すぎる。市が取り組みを行っても条件等に当てはまらなければ何の恩恵も受けられない子どももいるのでは？そういう子ども達にも何かしらの支援を受けれるようにしてほしい。
看護科ができるのはすごいと思った。社会によって必要な資格や学びができるのはすばらしいことだと思った。ありがとうございます。
高校に特別支援学級を作って欲しい
高校に特別支援学級をつくってほしい。高校に給食を導入して欲しい
選択肢も増えるので大学だけでなく専門学校もあればいいと思います。
むつ市内の大学に通える人数を増やしてもらいたい。数人だと、競争倍率高そうで合格できる気がしない。
夏休み、冬休み等に使える自習室みたいな場所を増やして欲しいです。上の子が受験生なのですが、1番下の子が3歳なので、自室で勉強していても、どうしても騒がしい声、音が聞こえてしまう為、集中出来なかったり、夜に寝静まってから取りかかったりするので生活リズムが崩れてしまったりします。図書館の勉強スペースも利用したりしていますが、満席で使えないときがあるので、勉強出来る施設を増やしていただけると助かります。
通学の交通費や制服ジャージなどの経費がかかりすぎるので、負担軽減してほしい。
むつ市に、大学ができることは、本当にありがたいと思います。ただ、我が家のように、佐井村だと、通学時間を考えるて、県民寮のようなものがあったら、経済的にも助かります。
もう少し 仕事内容など 体験をさせてほしい気持ちです
不登校の子供達にも将来自分に合った道が開けるよう安心して生きられる様にして欲しいです。
むつ市内に薬学部を作ってほしい！6年間なので、出来たら家から通わせられたらお金もそこまでかからないから。今、高校2年生なので、来年までには作ってほしい。
子供には色々な人との出会いや体験をしてほしいと考えています。自分自身、東京で8年間過ごし、様々な人と出会いや経験をし、今に至っているため、そう考えています。むつ市に大学等を誘致するのも必要ですが、県外に出て学ぶ人のサポートも忘れないでいただきたいです。
いろんな職業があるので、いろいろな職種の方に月1回でも良いので、学校に来てもらってお話をしてもらえたらと思います。様々な仕事があることを知ってもらって、いろんな事に興味を持ち、その中でやりたい仕事を見つけてもらったら良いのかなと思います。若い人が市内から出て行かないように、むつ市でもこんな仕事がある、こんな事が出来るんだと思ってくれたら、少しでも過疎化を減らしていけるのかなと思います。
ひとり親でも進学させられるようにしてほしい。奨学金制度はあるが返済できるか不安だし、子供の思い描くようにしてあげられないのが悔しい。ひとり親への給付金等を今よりも良く考えていただきたいです
魅力ある色んな職種や、魅力ある給料体制の職が増えればイイなと思う
部活動後のバスも出してほしい。バスがないと部活も出来ずにメタボが増える。

意見
長女を県外の私立4年に行かせてますが、むつ市に選択できる大学がないため、授業料、生活費を含め、すごい金額を費やす必要があります。この事を市でもう少し考え、子供達が田舎にいても夢を叶えられる環境にしてほしいです。
所得に関係のない就学する為の費用の負担が軽減されると幸いです。
不登校でも、将来を、考えられる夢の実現。社会へ進む為に資格がとれる学校。入試がない、やる気だけで入れる専門学校。オープンキャンパスなど好きなこと、出来るを、繋げて行ける夢のような専門学校があれば良いですね。
むつ市に大学ができたことは良いことだと思うが、実習などは青森市へ通学しないといけない等の話を聞いたことがあり、全て下北で資格取得ができるようになれば、学生の学習のしやすさや、学生時代で経験できる社会との関わり方(アルバイトでの労働経験など)ができると思います。それによって、市内の企業の人材不足にも一部貢献できるのではないのでしょうか。
子どもを育てている家庭に継続して支援をしてほしい。人口が減る事により、夢の実現のため他の地域へ行くような気がするため。
外国人、大学生、社会人との交流の機会を作してほしい。高校生のアルバイトが制限されているので、緩和するように働きかけてほしい。社会人としてのマナー、礼儀を身につけるとともに、将来の職業観を考える上で有効と思うし、お金を得ることの大変さと、そのお金の使い方を考えてほしい。特に進路が決定し、登校しなくても良い時期であってもアルバイトが禁止されているが、この期間こそその先のことを見越して有効ではないか。経済的にも必要です。
色々な職業への体験経験とジャンルについて学べる機会を増やして欲しい。現時点の経営者の体験談、宮下知事の体験談など、子供達が興味がある分野の知識を増やす機会を与えて欲しい。
子ども達が自由に将来の夢を見つけ、実現できる環境作りをしてほしい。将来の夢の為に〇〇高校受験したけど落ちて別の学校では、将来の夢の為ににはならないからなくななく将来の夢を諦めたと言う人を友人も含め沢山見てきたので、そうならないように高校は自由に選ばせてあげたい。
進める大学や専門学校を設けることはいいことだと思います。が、その過程の中で他県や海外との交流が頻繁であったり、必然であることが望ましいです。むつ市のために外を知ることが大切だと思います。むつ市のために『成功した取り組み』をどんどん取り入れて欲しいと思います。あとは発達障害の家庭を支える取り組みにも力を入れてほしいです。
三次産業の強化。特に海産。
県外に出なくても地元であるむつ市で学べる大学、短大、専門学校がもっと増える事を願っています。
子供目線で考えてほしい。合併もなんとなくしかわからないのに大概最近のむつ市はさっさと色々決まってる。大湊とむつ工の良さは消さないで継続してほしい。
高校の通学バスを脇野沢始発にしてほしいです。
通学の為の交通費支援、母子家庭の子供が就学する為の経済的支援、自動車運転免許取得の為の経済的支援（すでに制度があればその周知を徹底）

意見
様々なことを学んだり、外の世界を見たりするために、むつ市から県外に出ること自体、経済的に大きな負担となるが、子供の希望は叶えてあげたい。そこで、県外への進学に対しての補助があると教育格差も小さくなると思う。
将来の展望や個性のとらえ方、働くこと、学ぶ事の意義など、守旧的な地域意識の変革
小、中学校の様に高校と大学でも無料のスクールバスがあればいいなと思います。
公務員 警察 消防 市役所 その他 もう少し 体験学習 見学とう 考えてほしいです
就職先の充実
もっと色々な種類の大学や専門、短期大学を増やしてほしいです。他の大学や専門に比べて規模が小さいので何か魅力がない限り、県外に行くと思います。金額が安かったりむつ市の就職に有利とかならば
年配の方ばかりがバスなど色々な事に優遇されすぎだと思います。高校統合も新校舎じゃなく分校でもいいと思います。通うのにも大変です。子供の気持ちと通わせる親の気持ちを考えてないと昔から思います。皆さんが余裕のある生活をしているわけではありません
学費の補助や奨学金など、低所得者優先だけではなく幅広く考えていただきたいと思います。
むつ市には期待できません。ここで述べたところでなにも変わらなければ、期待するだけ無駄だと思っています。
むつ市以外の地区の不便さをどれだけご存じなのでしょう？選べるほど学校の数も多くありませんし子育て世代には何もかもが不便です。あと小学校、中学校ともに他校生徒との関わりが少なく世間知らずな子が多いです。せめて下北郡内の学校同士の関わりを増やしたほうが良いかと思います。それと、学校とは関係ありませんが小児科までバスで二時間もかかるので具合が悪いときほど連れていけません。改善をお願いします。
とにかく、むつ市は、お金がかかる市だと思います。子供を多く産んでもメリットがない。六ヶ所村みたいに、もっと手厚く助成してほしい。土地は、たくさんあるし、空いてる建物はたくさんあるのだから、市民や子供達の為にもっと活用してほしい。
薬剤師を目指しており、薬学部は6年なので、金銭面にも、むつ市にできれば嬉しく思います。
親以外の社会人と関わりを持てる機会があれば、将来の選択肢が広がるかと思います。
ここで何かを訴えたら、色々改善されるのでしょうか？最近市に何かを期待したところで無駄かなと感じます。主役である子ども達にむつ市の魅力は？と聞いても特にないと思います。機会があったら市内の小中高生にアンケートでもとってみたら良いかと思います。
こどもたち同士でコミュニケーションがとれ、良い刺激を与える場を作ってほしい。一緒になにかをクリアするとか、つくるとか企画でもいいし、気軽に集まれる広場や部屋などがあってもいいのかと思います。やりたい子が、ではなく強制参加もいいのでは。道路の整備もお願いしたいです。
美容系の専門学校を作って欲しい。
何事も早めに実現出来ればと願っております。
まだ大学の学部が限定的なので、様々な学部があると有難いです

意見
検定試験場(沢山の検定試験)がむつ市だと助かります。娘が英検、漢検、数検その他試験に興味あるので希望致します。何卒、よろしくお願いします。聞いて下さりありがとうございます。
市内の大学のことをまだよく知らないのですが、福祉や看護系があるようですが、IT系もあれば、卒業後の就職にも役立つと思います。
高校の総合学科の選択肢が狭い。むつ市には音楽を教える先生が沢山います。その他の職業も。様々な職業を知る選択肢がもっと必要だと思います。
統合校の学科がなにになるのか早急に知りたいです。それにより市外への進学をむつ市内へ変更出来るかもしれない。IT系の学科がある学校は県内でも数校です。むつ市も他の市から学生を呼び込めるような特別な学科を作るべきだと思います。また、それに併せて、今大湊高校で行っているような下宿制度ももっと力を入れていくべき。このままでは学生のうちから市外へ出てしまう子が増えてしまいます。高校の3年間は社会に出る前の大事な時期です。どうか無駄にならぬ様、実のある時間にしてほしいと思います。その為に専門的な知識を高校時代から築くことは有意義なことです。ぜひむつ市にもそういった学校ができることを望みます。
大学及び短大進学時の学費補助
通学バスの無償化
税金、お金の運用、年金、保険についての勉強。義務教育の無償化
長期休み中に、宿題や、学習会がひとつもなく学べる会が、1度でもあればよいと思う。
武道館を建てていただきたい
むつ市にも農業を学べる学科があれば入らせたい。
経済的に進学が困難な場合の支援の充実
授業での為替などの勉強
高校での模試などの金額補助
むつ市内に大学を増やして欲しい。私立ではなく国公立大学希望。
遅くまで開いている自習室を作る。進学校を作る。大手予備校をむつ市へ。まさかり高校のような機会をもっと増やす。(→まさかり高校に参加していた我が子が、とてもよかったー！！と言っていました！！)
親や学校の先生以外の大人と触れ合う機会が増えるといいです。ほんの一握りの児童生徒のみが参加している大湊ねぶたや田名部祭りのあり方で、考えるようになりました。地元の代表的な行事を楽しむことで、故郷に残る意義や、大切さをかんがるようになるのでは？と思います。今年の小学生の流し踊り参加はとてもいいと思いました。何もない田舎、ではなく楽しい日々を過ごして欲しいです
美容学校を作ってほしい。
入学人数を増やして欲しい
医療、福祉ばかりの学校だけでなくIT、服飾、調理師などの職種についても考えて欲しい 4年の学費、医療、福祉系の学費は大きすぎます 普通に生きていけるように手に職をととは思いますが
一番上の子は、障害者なので障害者も働きやすい環境にして欲しいです。
こどもたちの声が反映される仕組みづくりをお願いします。

意見
高校も給食費の無償化
スポーツ向上の為の指導やスポーツトレーナーの常時派遣（遠征時）陸上競技場のライトアップや熱中症防止に競技場外等にミストなどがあると良い。
陸上、海洋、ウィンタースポーツ等にも特化した大学を誘致して欲しい。県内の大学だけではなく県外、他地域の参考に。
田舎だとどうしても将来の夢は現実ではなく、憧れやメディアでの羨望に比重が偏ってしまうのかなと思います。いま、中学校で行っている職業体験できる場を、学校単位ではなく市の取り組みとして出来たら子どもの視野も広がるのではと思いました。親ももちろん援助や助言も必要だと思いますが…。
むつ市は何をするにも選択肢が少ないので、あまり期待はしていない。市外、県外の大学に対応できる学力を向上させてほしい。
学校で取得できる資格もありますが、大人や子供が色々な資格をとれる場をつくって欲しい。資格もこういうものがあるか一覧みたいな物を子供に提供して欲しい。なにがあるかすら把握していなかったのだ。
・地元で安心して就職できるように、必要な資格を市内の高校や大学などで取得できるようにしてほしい。 ・親の経済的負担が原因で夢が実現できない場合もあるので、補助金など設定してほしい。
上の子は現在中2で小6から不登校です。将来の夢について考えたくても、学校に行けないため目の前の苦しみにとらわれ、未来を描くことが出来ません。まずは、不登校の児童、生徒を救ってほしいです。子供はあっという間に大きくなります。1日でも早い対応をお願いします。下の子は現在小6で年中からことばの教室に通っています。ことばの遅れがありますが友達付き合いは良く、それなりに楽しく学校に通っています。しかしながら、中学校に上がると通級指導教室がなくなるため、勉強についていけるか、思春期になり複雑になる人間関係でやっていけるか、心配はつきません。中学校と高校にも通級指導教室を設けてほしいです。不登校の子の中には通級指導教室で学ぶことで学校に復帰できる子もいるかも知れません。中高の通級指導教室の設置について前向きに検討して欲しいです。むつの子供たちの未来のため、まずは『いま』を楽しく過ごせるよう、願っています。
資格がとれる学校を増やして欲しい。
学べる場所を提供してほしい
Uターンの支援、補助金の支給
人口が激減するので、今の時点から抜本的に学校の統廃合をはじめ、各学校が特色ある教育活動をしてほしい。
I Tが学べる大学や専門学校をつくってほしい。
介護の資格の場合、東奥学園では介護福祉士の資格を在学中に取れるみたいですが、むつ市では、介護初任者研修だけみたいなので、むつ市でも在学中に取得できる取り組みをして欲しいです。また介護だけでなく、その他の資格もむつ市で取得できるようになればいいと思います。

意見
子どもはむつ活の学習クラブに所属しており、考古学専門の市役所の職員さんに実際に発掘調査現場を見せてもらえたり、資料室で講義を受けて、その分野を深く学びたいと思ったようです。うちは、運動部と学習クラブを両立していますが、個人種目なのと、本人がそこまで運動に力を入れていないこと、中学校の先生がその競技未経験で指導ができないからと、むつ活に参加を快諾して下さり、両立しています。団体種目や本人の力の入れ方により、むつ活の内容に興味があっても、簡単に参加できない生徒さんもいるかもしれません。次年度以降は全ての部がむつ活に移行するため、指導者さんの理解は得やすいと思いますが、必要に応じて配慮があると良いと思いました。学習クラブは、ジオや数学など、将来を考えるきっかけになる講座もあります。運動部との両立など参加できない子もいると思いますので、夏休みなど単発イベントがあるとより良いのかなと思いました。現在もされている取り組みですが、職場体験や、大学の講義や大学生活を中学生のうちに体験できると学習へのモチベーションや将来を考えるきっかけになると思いました。市役所はいろんな職種、仕事内容がありますし、県内には大学や専門学校等ありますので、今回の看護大学含めて、体験型のイベントがあればいいなと思います。予算との兼ね合いもあると思いますので難しいでしょうが、理想を挙げてみました。
短期留学など海外にふれる機会があれば、視野が広がり、役立つと思います。
縛りのない奨学金制度
美術系の専門学校が県内に無いので、必ず県外に出なければいけないというのがネックであると思う。むつ市に美術系の専門学校との何らかの連携が取れて、通うことになれば、経済面や精神面などとても助かると思う。
八戸学院大学が看護学科だけでなく 人間健康学科も含まれていれば 合格した際は自宅から通えるので親も安心ですしむつ市が好きなのでむつから出なくて済むのでありがたい。八戸大学を受験するにしても他の職種を希望すれば どうしても市外に出ないとならなくなるので残念です。
自己肯定感、有用感を育てる学校教育であってほしいです。まずは、あなたはあなたのままでいいという存在を認める先生方の眼差しと、子どもの話を聞くスキルを学校現場にいる方々に身につけていただきたいです。そうした支えが、子ども達を自立自学につなげ、夢や未来を明るいものとして捉えていけるのではないかと考えます。
進学校へ進学を希望する生徒への大手予備校や進学塾の夏期、冬期講習の実施
むつ市の置かれた地理的条件、特徴、何が魅力になるのか、などを客観的に把握して、これからどういったアプローチで生き残っていけるのかを改めてイメージしなおし直さなければならない。そしてそのむつ市を実現するべくみんなが生き生きと生活していれば、子供達はこの町で生きていこうと会い決断をすることができると思う。大人が漠然と都会を目指すような態度では、『都会の方がいいだな』と解釈し、都会へ出ていくだろう。
職業の選択肢、それにつながる学校の選択肢について多くのものを知るチャンスを作ってほしい。
・一定水準の収入を確保した上での働く場の創出
給付型の奨学金

意見
スキー教室やマラソン記録会などがなくなっている、子ども達が色々な体験が出来る場が出来て欲しいと思います。
一田小の辺りは公園などもなく子どもが自由に遊べる場所がないので作って欲しい。放課後や土日にうろうろして遊び相手を探している様な子がいるので、児童館みたいな物があってもいいと思う。ウェルネスやアリーナはお年寄り優先の様な雰囲気がある。子どもが体を動かせる様な教室などがあってもいいと思います。子どもが行きやすい場所にしてほしい。
部活後の高校生を川内までむつかつのバスに乗せてほしい
教師としての質の向上
県内就職のこどもに対しての交通費支給等の手当があれば助かります。
歴史、文学、教育といった一般的な学部や、地域の強みを生かした水産学、生物学、海洋科学など、多様な分野の学問に地元にながら取り組める環境があればいいなと思います。また、美術館や博物館が身近にあれば、将来の選択肢や可能性が広がるのではないかと思います。東京都知事が都民の東京都立大学授業料無償化方針とのニュースを見ました。人口減少だけでなく都会との教育格差がますます広がることになるかもしれません。教育に対するさらなる支援もご検討いただきたいです。
結局むつから出て進学してそのまま就職になる。むつでは給与面で安すぎる。
本人が目指す方向に進んで欲しいと思いつつも、生活費や交通費など他の事での出費が多い事と、本人が望む進学先がもっとある事を願うばかりです。
大学生が住みやすい環境や住居を整備した方がいい
親の収入が原因で子供の進学を諦めさせたくない。だから、助成とか奨学金とかハードルが低く応募できるものがあればと思います。
どこの学校に進学しても最終的に就職できるかどうかです。むつ市の子供達がむつ市で生活していける就職先を増やして欲しい。就職先が無いから県外に出てしまう。
むつ市でも不登校の子が増えているようなので、通信制高校やそれに対応できる場所があればいいなと思います。
将来の夢を実現するには、学力が重要だと思いますが、県内外に比較してむつ下北地域は学力が劣っているように感じます。学校では、先生方は一生懸命、指導しており、学校外での塾、家庭での学習が足りていないと思います。学校外での学習環境を整えて頂きたいです。
むつ市には私立高校がないので、市外の私立高校へ進学すると、生活費など経済的負担が増えるので、将来私立高校へ進学する生徒の為に設立して欲しい。
高校が旧むつ市にあることから、通学にお金がかかります。スクールバスの無料化を実施してほしい。塾にも通いたいので（大畑町に高校生が通えるような塾がないので）、幼稚園バスのように個別にピックアップし自宅付近まで帰れるようなシステムがほしい（むつ市、塾、保護者で費用を負担するなど）子どもの『学びたい気持ち』を妨げない柔軟な対応が必要と考えます。
特進クラスの設置
補助金等関係を充実させて欲しい。

意見
自宅を離れて学ぶ子供への学費・生活費などの補助
学力向上。海外留学。ボランティア活動
大畑地区から高校への通学費をなんとかしてほしい。半額負担になっても倍の金額になったので、実質全く変わらない。その後の蓄えが全くできなく大学進学が希望だが、就職になる可能性が大きい。せっかく大学がむつ市内に増えた事には感謝しているが進学が難しくなるかもしれない。子供たちが一人でも多くむつ市に定住できるような取り組みを期待しています。
大学の入学金や授業料など経済面に対する免除。所得に関係なく無利子の奨学金制度。
もっと、色々な学部があったら、市内に留まる子が増えると思います。親にとっても経済的負担が軽減してありがたいです。例えば、教育学部、薬学部など資格を取得できるような学部がいいと思います。看護学部は、素晴らしいです！
田名部高校は残るとのこと、これまで通り進学校として共通テストを田名部高校で受けられる体制を維持してほしいです
子供達がむつに残りたいと思うような活気がある様な街づくりをして欲しい。田名部祭りの時しか賑わいがないむつ市の中心が普段は人気がない、商業施設もない、むつに残りたいと思えるような環境づくりからが必要だと思う。
高校や大学・短大、専門学校の学費を負担してほしいです。
通える大学を増やして欲しい（しりつではなくあ国公立など、家計に負担の少ない大学）。また、就職先を増やして欲しい。コネクションではなく役所関係に勤めやすく！
子供が希望する進路を実現してあげたいと思いますが、高校を卒業してから大学や専門学校など進学を希望した時経済的な面で進学させてあげられないのではないかととても不安です。奨学金制度や教育ローン、色々な種類の借入れがあるのだと思いますが、そもそも借入れが可能なのかなど、不安しかありません。そういう経済的な事で不安を抱えている家庭が安心して進学を勧められるよう、子供に夢を諦めさせないような取り組みがあったらと思っています。
専門学校もできてほしいです。
可能性を広げるため様々な職の話、紹介や大学、専門学校等の体験談をみんなで見聞きする場がたくさんあったらと思う 学校での職業体験では一つに絞られ友達に合わせてしまうなどある 希望制の講演会だとわざわざ行かない 授業の一環でやってほしい
検定を身近に受験できるように、検定料の補助、経済的負担を少なく大学進学できるよう補助して欲しい